



埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第190集

上里町

中堀遺跡

御陣場川堤調節池関係
埋蔵文化財調査報告
〈第3分冊〉

1997

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

目次

口 序			
例 言			
目 次			
	(第1分冊)		
I 調査の概要	1		
1 調査に至る経過	1		
2 発掘調査・報告書作成の経過	2		
3 発掘調査・整理・報告書作成の組織	4		
II 立地と環境	7		
III 遺跡の概要	15		
IV 遺構と遺物	21		
1 縄文時代	21		
2 古墳時代	33		
(1) 竪穴式住居跡	33		
(2) 溝跡	41		
3 古代	43		
(1) 竪穴式住居跡	44		
(第140号住居跡まで)	326		
	(第2分冊)		
(第141号住居跡から)	327		
(2) 掘立柱建物跡	579		
	(第3分冊)		
(3) 建物地業跡	707		
(4) 区画溝・溝・集石列	749		
(5) 柵列・道路跡・橋状遺構	807		
(6) 土壌	821		
(7) 井戸跡	927		
(8) 竪穴状遺構	935		
(9) 鍛冶炉跡	949		
(10) 大甕埋設遺構	955		
(11) 土器埋設遺構	967		
(12) 馬骨・人骨	975		
(13) 畝状遺構・風倒木痕	977		
(14) 小穴	981		
(15) 遺物包含層中の遺物	995		
a 9世紀の遺物出土状況	995		
b 10世紀の遺物出土状況	1001		
c 灰釉陶器・緑釉陶器・白磁・ 黒色土器	1004		
d 長頸壺	1017		
e 大甕	1018		
f 土錘	1023		
g 平瓦・丸瓦	1031		
h フイゴ羽口	1037		
i 金属製品	1042		
J 円板状土製品	1045		
k 切石	1045		
l 置きカマド	1045		
m 砥石	1045		
n 棹秤の権	1046		
4 中世	1047		
(1) 竪穴状遺構	1049		
(2) 掘立柱建物跡	1055		
(3) 溝	1055		
(4) 集石	1056		
(5) 火葬墓	1061		
(6) 中世の遺物	1061		
	(第4分冊)		
V 結語	1065		
附編	1392		
	(第5分冊)		
	写真図版		

(3) 建物地業跡

調査区の南側中央、第13号区画溝の中に三基の建物地業跡を確認した。

第13号区画溝に囲まれた一角は、全面に焼土・土器・瓦が堆積し、また砂利採集による土取り穴が、複雑に存在していたため、遺構確認に大変手間取った。

とくに瓦片は、耕作土中からも出土し、耕作土直下では、焼土や炭化物とともに比較的まとまった範囲から出土した。

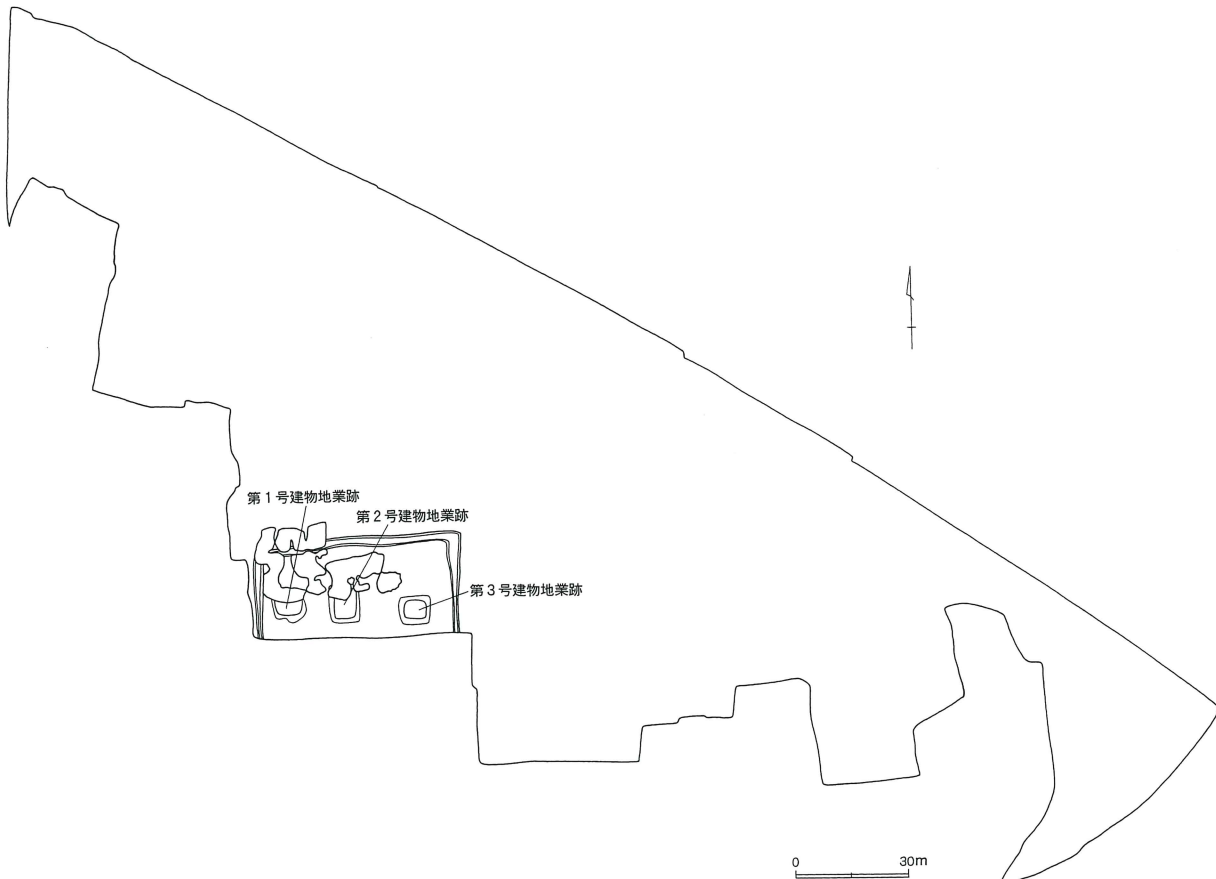
このことからこの区画内に、火災によって倒壊した瓦葺き建物の存在が予測された。そこでグリッド杭列

の両側を堆積土層の確認のために残して、4分の1の小グリッドを単位として数cmずつ掘削し、焼土と炭化物の範囲や瓦片・土器の出土状況を記録した。これは、建物の基礎構造や屋根構造等を瓦等から復元するためである。

元来、地山に大量の礫が含まれる地味のため、この堆積層中にも拳大の礫が多く含まれ、調査は困難を極めた。しかし、焼土と炭化物の堆積層を除去したところ、三つの建物の地業跡を確認することができた。

以下、個々の建物について述べることとする。

第572図 建物地業跡全体図

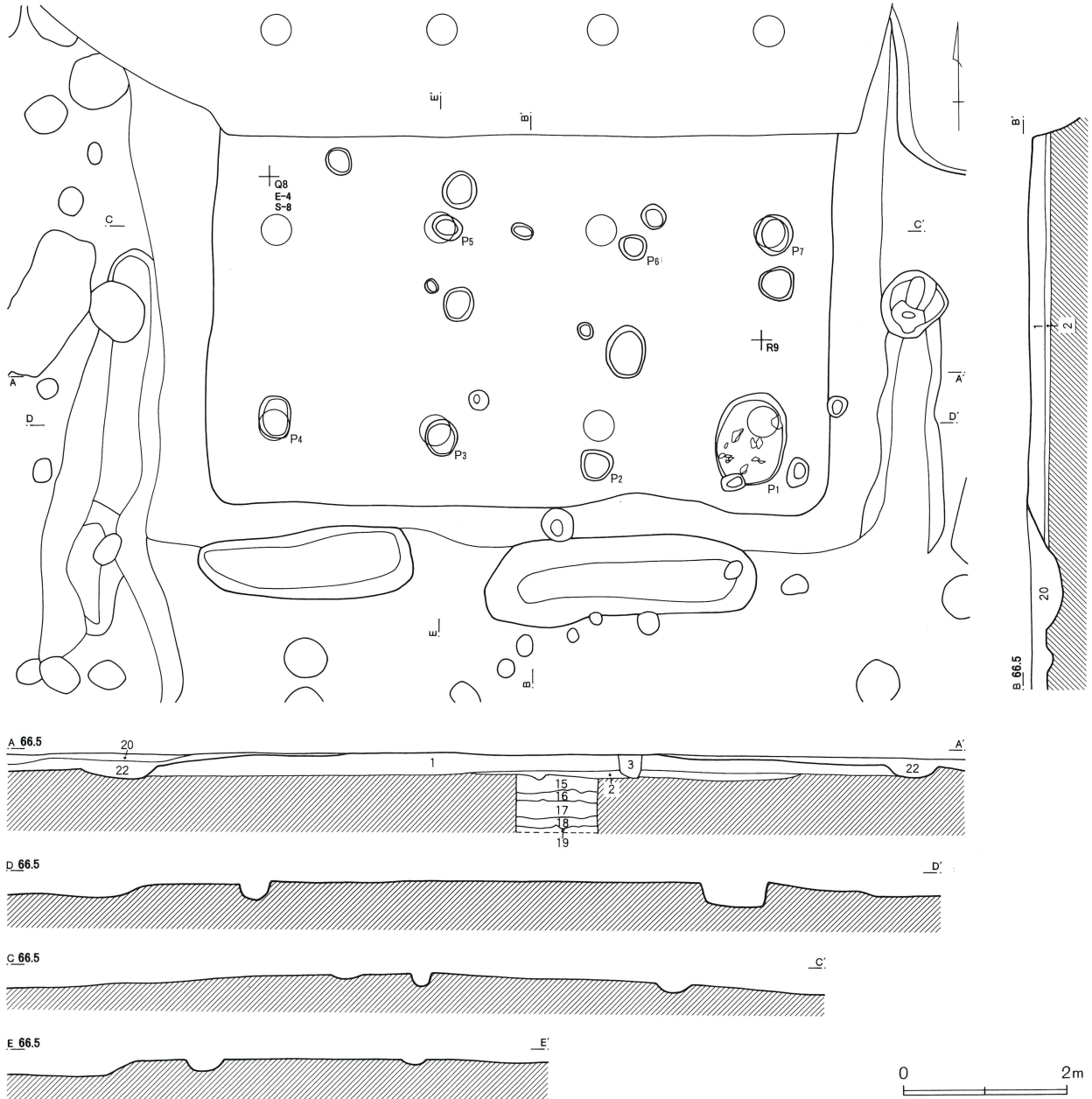


第1号建物地業跡（第573図）

Q-8・9、R-8・9グリッドで確認された。
北側は、大きな砂利採集穴によって掘削されていた。

第573図のように、遺構直上に焼土と炭化物の混
じった覆土が堆積していた。この覆土中からの瓦の出
土は比較的少なく、分布もやや散漫であった。

第573図 第1号建物地業跡



建物地業跡

- 1 灰黄褐色土 焼土粒子、土器片、礫を含む
- 2 黒褐色土 地山ブロックを含む
- 3 灰黄褐色土 焼土粒を多量に含み、地山ブロックを含む
- 4 暗褐色土 焼土粒子、小礫を少量含む 砂質
- 5 にぶい黄褐色土 焼土粒子、地山ブロックを微量含む
- 6 黒褐色土 焼土粒子を少量含む 砂質
- 7 灰黄褐色土 焼土、礫を微量含む
- 8 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、白色粒子を多量に含む 小礫を含む
- 9 黒褐色土 焼土粒子、炭化粒子を少量含み、小礫を多量に含み

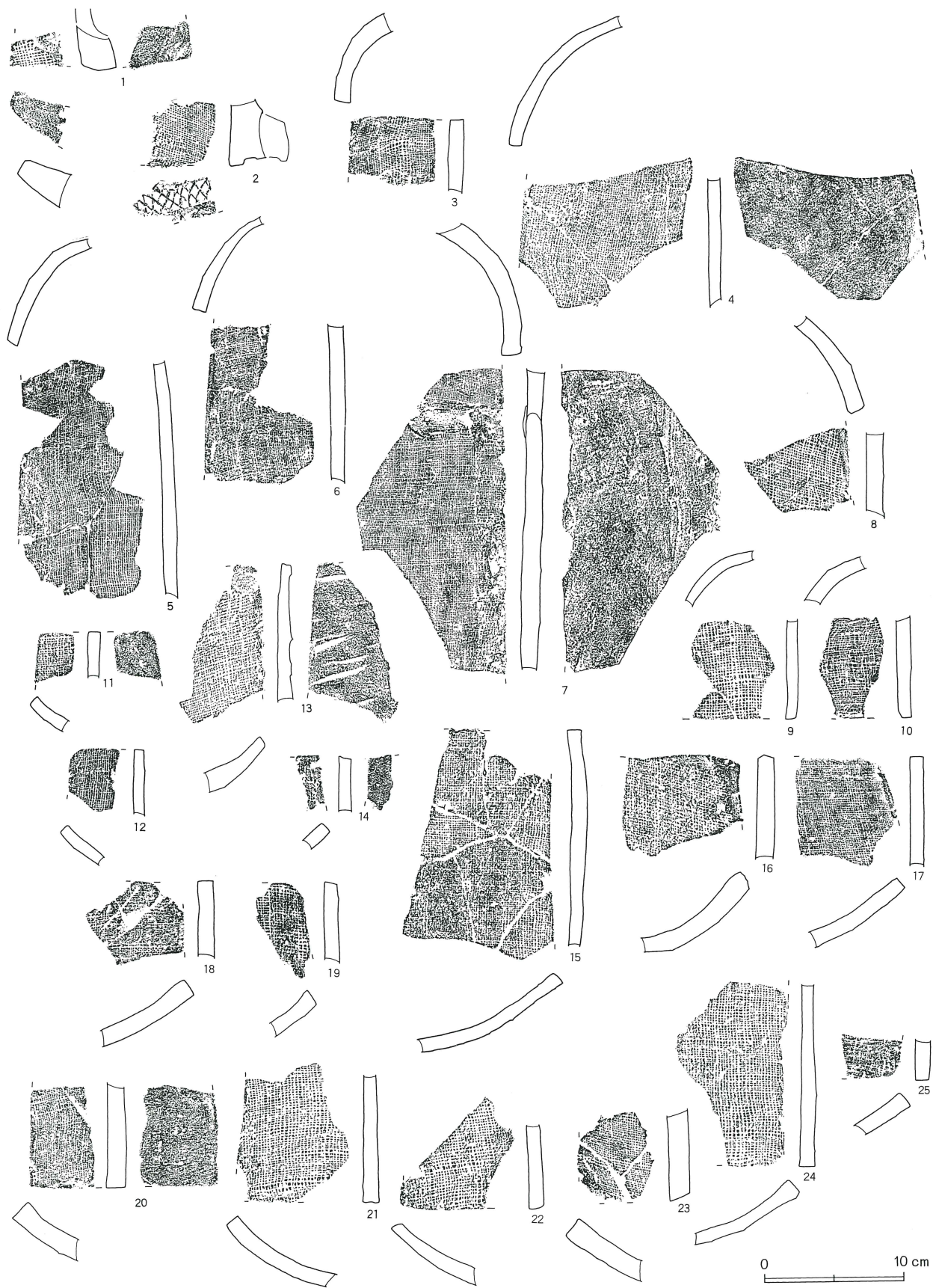
- 10 黒褐色土 焼土粒子を多量に含み、炭化粒子を微量含む 砂質
- 11 暗褐色土 焼土粒子、炭化粒子を微量含む
- 12 黒褐色土 焼土粒子を少量含む
- 13 黒褐色土 焼土粒子、小礫を少量含む 砂質
- 14 黒褐色土 焼土粒子、白色粒子を微量含む
- 15 暗褐色土 炭化粒子、赤褐色粒子を微量含み、B軽石を多量に含む
- 16 暗褐色土 炭化粒子、赤褐色粒子を微量含み、B軽石を多量に含む
- 17 黒褐色土 炭化粒子、赤褐色粒子を微量含み、B軽石を多量に含む

- 18 暗褐色土 炭化粒子、赤褐色粒子を微量含み、B軽石を多量に含む
- 19 にぶい黄褐色土 礫を多量に含む

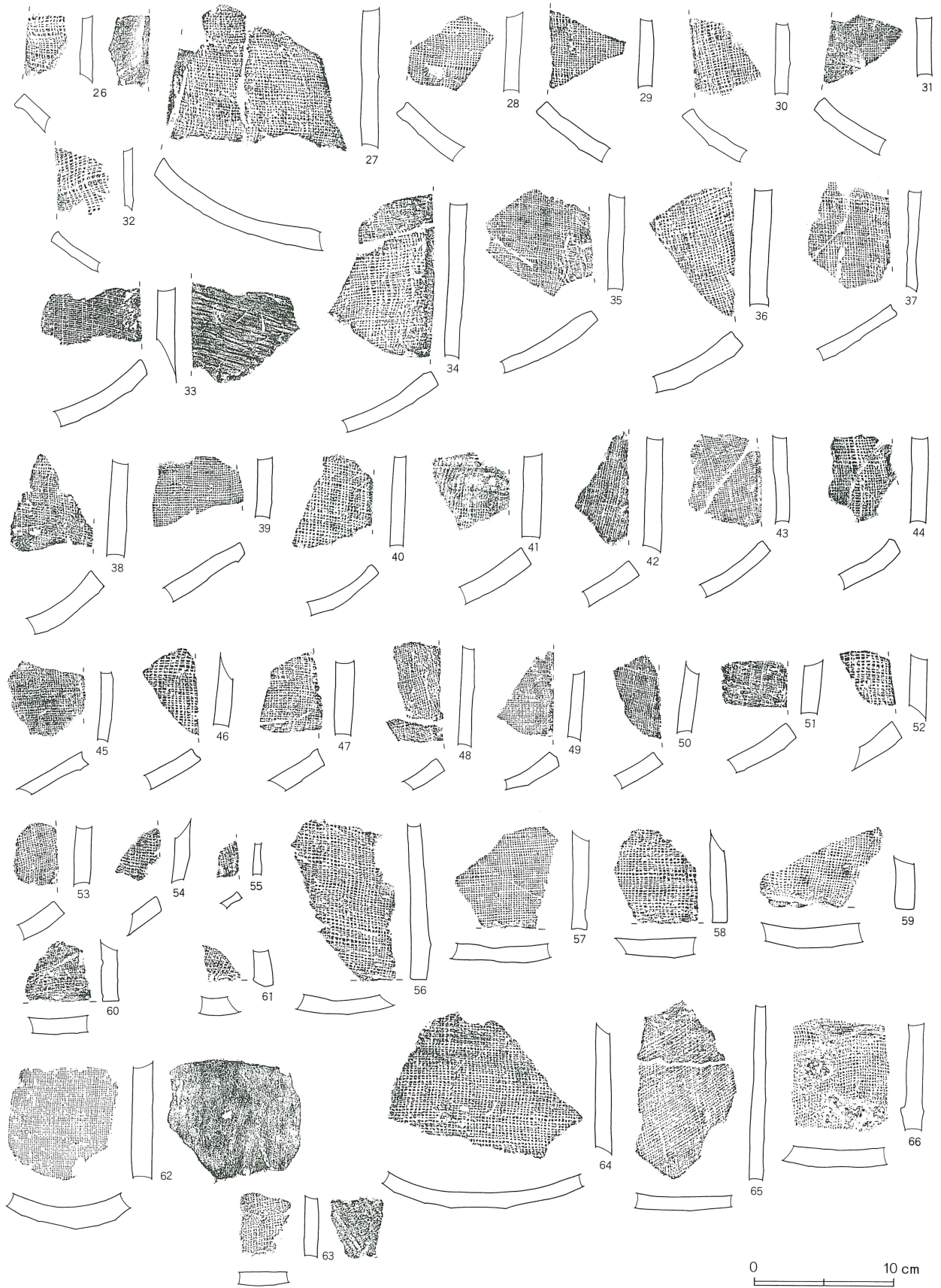
建物地形跡被覆土

- 20 黒褐色土 焼土を微量含み、白色軟質砂粒、黒褐色土を含む
- 21 黒褐色土 焼土粒子、土器片、礫を多量に含む
- 22 にぶい黄褐色土 焼土粒子、炭化物を微量含む 粘性あり
- 23 黒褐色土 焼土粒子を微量含む 粘性あり

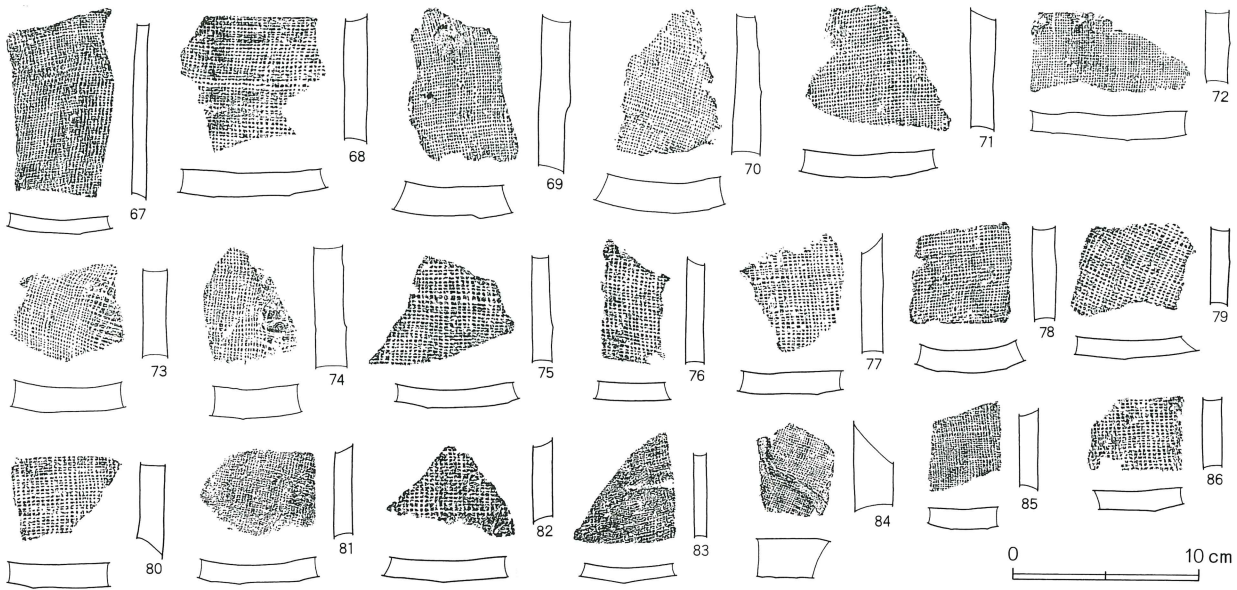
第574图 第1号建物地業跡出土瓦（1）



第575图 第1号建物地業跡出土瓦（2）



第576図 第1号建物地業跡出土瓦（3）



この焼土層を除くと、東西7.62m、南北4.5m以上、高さ0.10mの長方形の高まりを確認することができた。周囲の溝を含めると東西10.6m、南北6.0m以上となる。東西が長く、長軸方向はN-88°-Wである。

周囲には、雨落ち溝状の薄い周溝状の窪みが確認され、南辺側では、細長い土壇状となっていた。長方形の土壇内には、18カ所の小穴が確認されたが、積極的に掘立柱建物跡の柱穴としてとらえきれなかった。また礎石も確認できなかった。ただしこの長方形の土壇は、版築等の念入りな基礎地業を行ってはいないが、明確な整地層がみられることから建物の地業跡と判断した。

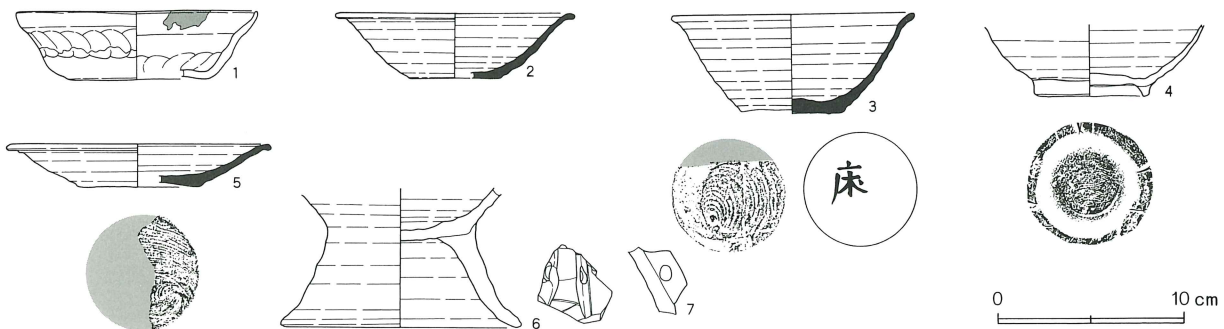
第1号建物地形跡の東南の隅には、楕円形で小形の

土壇が浅く彫り込まれていた。ここに建てられた建物の地鎮遺構と考えた（第V章参照）。

第1号建物地業跡に関連した出土遺物は、地業跡の直上に堆積した焼土層中の遺物である。第574図から第576図は、瓦である。1・2は、軒平瓦である。3から10は、丸瓦である。11から86は、平瓦である。

第577図は、土器である。1は、土師器の坏Aである。2は、須恵器（S）の椀である。3は、須恵器（S）の高台付椀である。4は、須恵器（HS）の高台付椀である。5は、須恵器（S）の皿である。6は、須恵器（HS）の高脚高台付鉢である。7は、須恵器（HS）の四耳壺の把手である。

第577図 第1号建物地業跡出土遺物



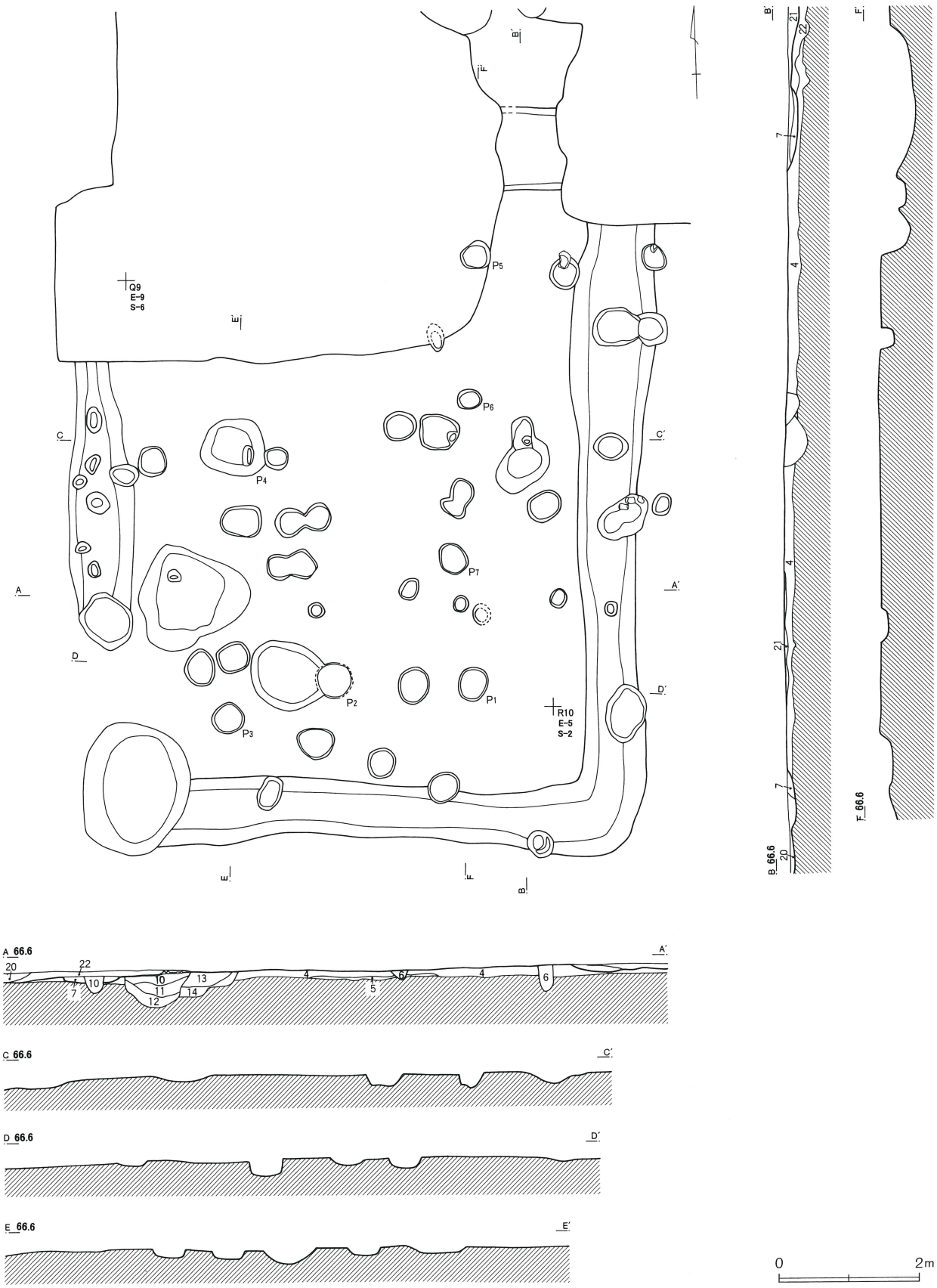
第 441 表 第 1 号建物地業跡出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面	番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
1	軒平瓦	酸化炎	隆帯	布	-	44	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り
2	軒平瓦	酸化炎	隆帯	布	-	45	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
3	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	46	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
4	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	47	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
5	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	48	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
6	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	49	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
7	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	50	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
8	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	51	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
9	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	52	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
10	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	53	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
11	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	54	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
12	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	55	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
13	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	56	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
14	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	57	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
15	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	58	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
16	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	59	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
17	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	60	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
18	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	61	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
19	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	62	丸瓦	中間	刷り消し	布	-
20	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	63	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
21	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	64	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
22	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	65	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
23	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	66	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
24	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	67	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
25	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	68	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
26	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	69	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
27	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	70	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
28	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	71	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
29	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	72	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
30	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	73	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
31	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	74	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
32	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	75	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
33	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り	76	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
34	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	77	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
35	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	78	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
36	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	79	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
37	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	80	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
38	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	81	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
39	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	82	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
40	丸瓦	中間	刷り消し	布	1 面面取り	83	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
41	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	84	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
42	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	85	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
43	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	86	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-

第 442 表 第 1 号建物地業跡出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鏝	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏	A	H	13.0	3.6		7.0	B, E, H	普通	橙	20	
2	碗	S	12.0	3.4		4.8			良好	灰	25	
3	高台付碗	S	13.0	5.6		5.3	B		良好	灰白	30	墨書
4	高台付碗	HS				5.5	B, C, E, G, H		普通	灰白	50	
5	皿	S	14.0	2.2		6.5	B		良好	黄灰	25	
6	高脚高台付碗	HS				12.5	B, E, G		良好	淡黄	10	
7	四耳壺	HS					E, H		良好	橙		

第578図 第2号建物地業跡



第2号建物地業跡（第578図）

Q-9・10、R-9・10グリッドで確認された。

北側を大きな砂利採集穴によって掘削され、そのうえ、地山に大変礫が多く混じっていたため、遺構確認は大変困難だった。

第578図のように、遺構直上面に焼土と炭化物の混じった覆土が堆積していた。この覆土中には、比較的多量の瓦が混じっていた。

この焼土層を除くと、東西6.3m、南北8.43m以上、高さ0.10mの長方形の高まりを確認することができた。周囲の溝を含めると東西8.00m、南北10.40m以上となる。南北が長く、長軸方向はN-2°-Eである。

周囲には、雨落ち溝状の薄い周溝状の窪みが確認され、南西部で一端途切れるものの、四周を巡ると考えられる。

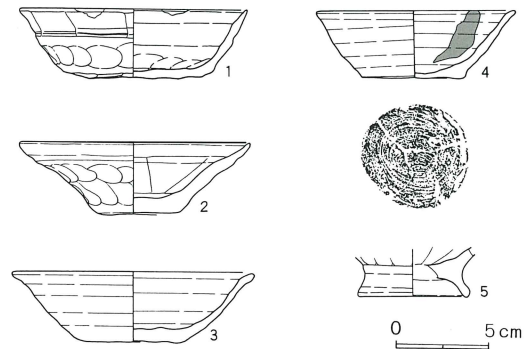
長方形の土壇内には、45カ所の小穴が確認されたが、積極的に掘立柱建物跡の柱穴としてとらえきれなかった。また礎石も確認できなかった。ただしこの長方形の土壇は、版築等の念入りな基礎地業を行ってはいないが、明確な整地層がみられることから建物の地業跡と判断した。

第1号建物地形跡でみられた地鎮遺構は、確認できなかった。

第2号建物地業跡に関連したの出土遺物は、地業跡の直上に堆積した焼土層中の遺物である。第580図から第581図は、瓦である。1は、軒丸瓦である。2から10は、丸瓦である。11から75は、平瓦である。

第579図は、土器である。1は、土師器の坏AⅣである。2は、土師器の坏Bである。3・4は、須恵器（HS）の椀である。5は、須恵器（HS）の高台付椀である。

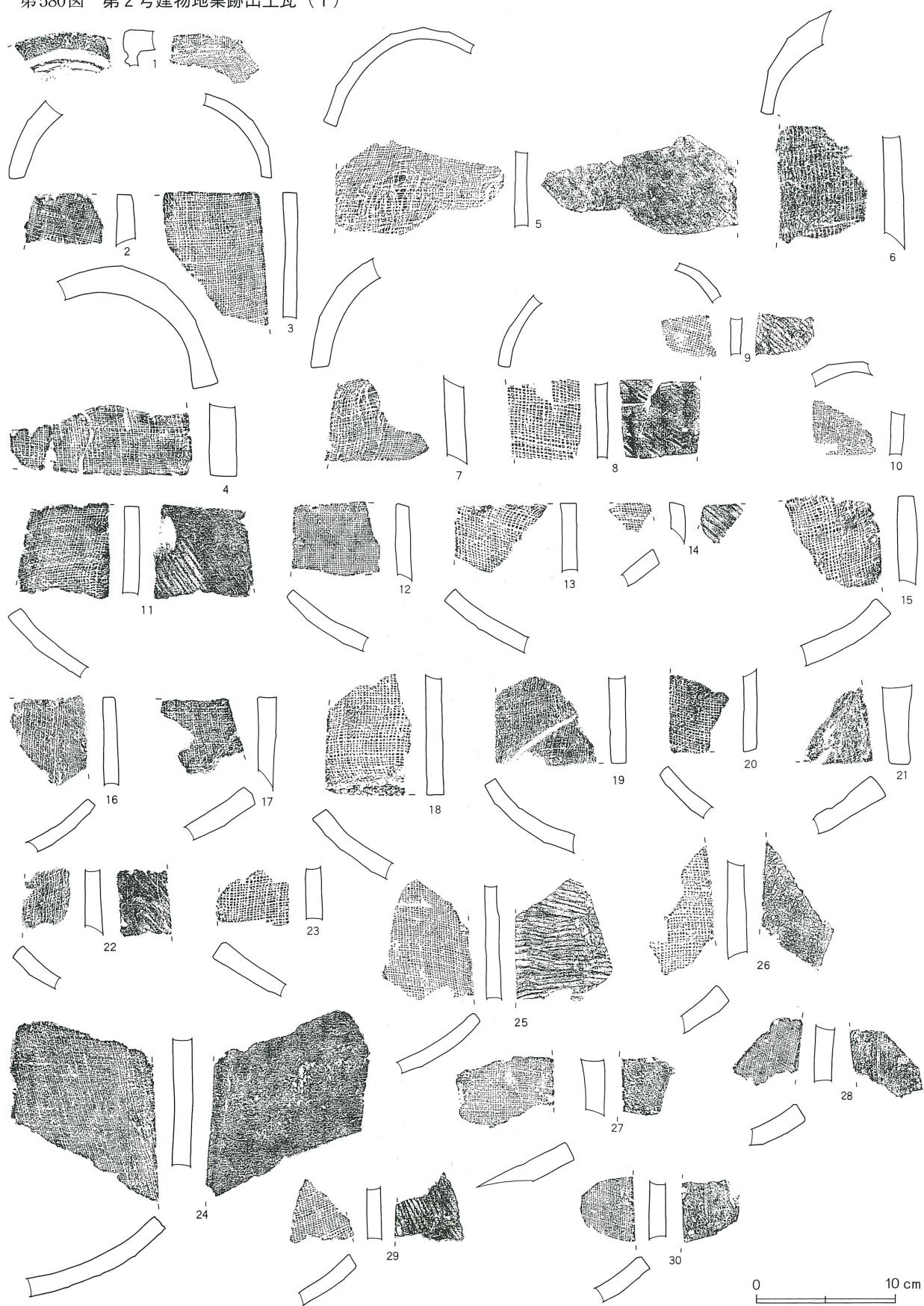
第579図 第2号建物地業跡出土遺物



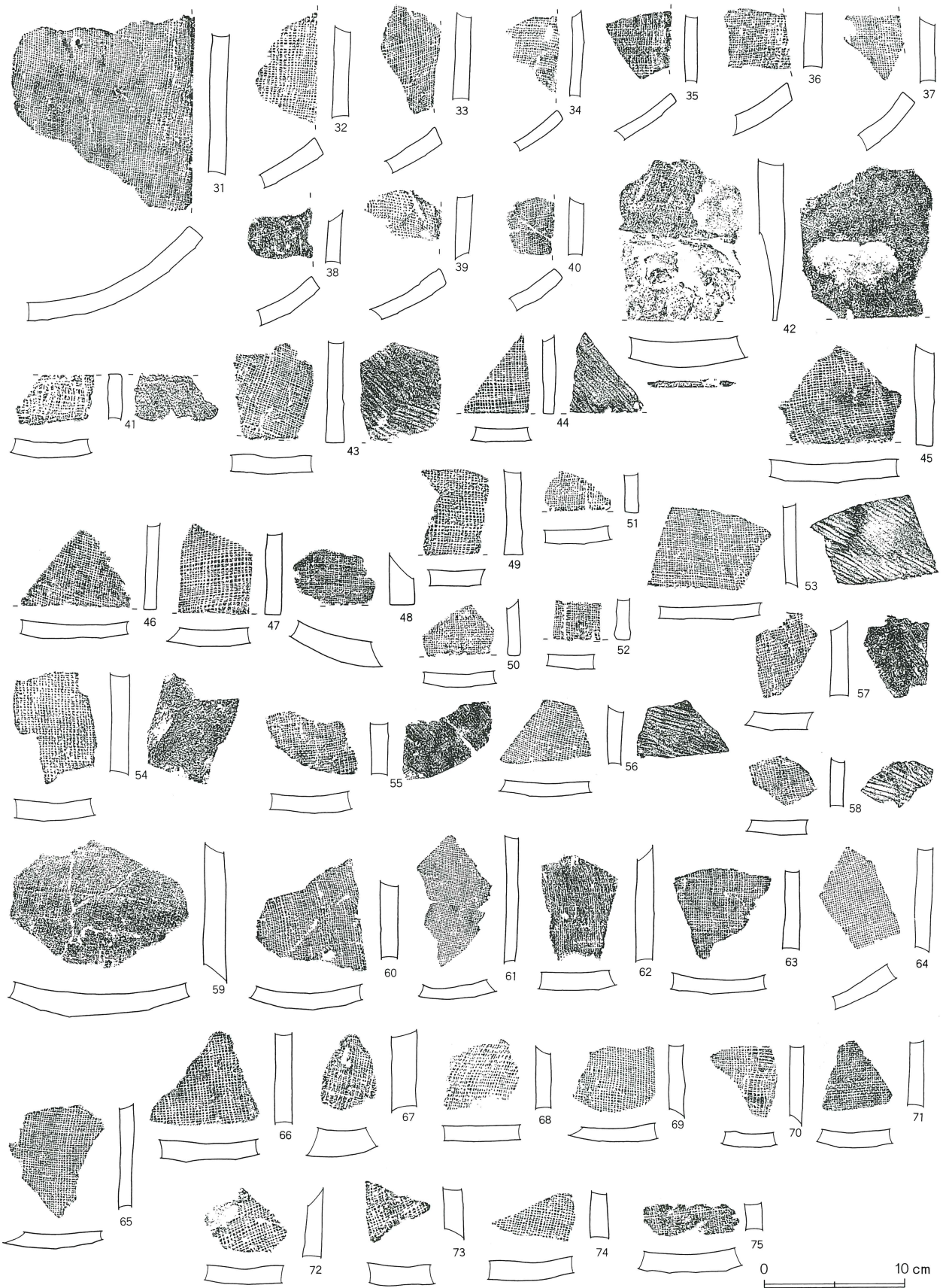
第443表 第2号建物地業跡出土瓦観察表（1）

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面	番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
1	軒丸瓦	酸化炎	瓦当	布	-	15	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1面面取り
2	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	2面面取り	16	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面面取り
3	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	2面面取り	17	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
4	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面面取り	18	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面面取り
5	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1面面取り	19	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	2面面取り
6	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1面面取り	20	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2面面取り
7	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り	21	平瓦	酸化炎	不明	布	2面面取り
8	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り	22	丸瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1面面取り
9	丸瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-	23	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1面面取り
10	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	24	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
11	平瓦	中間	平行タタキと刷り消し	布	2面面取り	25	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	1面面取り
12	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面面取り	26	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1面面取り
13	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2面面取り	27	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1面面取り
14	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	1面面取り	28	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1面面取り

第580图 第2号建物地業跡出土瓦(1)



第581图 第2号建物地業跡出土瓦（2）



第 444 表 第 2 号建物地業跡出土瓦観察表 (2)

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面	番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
29	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	1面取り	52	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り
30	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1面取り	53	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	-
31	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	55	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
32	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	56	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-
33	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	57	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
34	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	58	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	-
35	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	59	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
36	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	1面取り	60	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
37	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	61	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
38	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1面取り	62	平瓦	中間	刷り消し	布	-
39	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	63	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
40	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	64	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
41	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1面取り	65	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
43	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-	66	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
44	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1面取り	67	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
45	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1面取り	68	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
46	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	69	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
47	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	70	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
48	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	71	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
49	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	72	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
50	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面取り	73	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
51	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面取り	74	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
						75	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-

第 445 表 第 2 号建物地業跡出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鏝	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A	IV	H	11.8	3.7		7.8	B, D, E	普通	黄 橙	80	
2	坏	B	H	11.6	3.8		4.2	B, D, E, H	普通	黄 橙	80	
3	椀	HS		12.0	3.9		4.2		普通	黄 褐	80	
4	椀	HS		11.0	3.5		5.3	B, E, G	良好	にぶい黄橙	90	
5	高台付坏	H					5.6	B, E, H	普通	橙	10	

第 3 号建物地業跡 (第 582 図)

Q-11・12、R-11・12グリッドで確認された。

礫が地山に多く混じっており、遺構確認は大変困難だった。

第 582 図のように遺構直上面に焼土と炭化物の混じった覆土が堆積していた。この覆土中からの瓦の出土は比較的少なく、分布もやや散漫であった。

この焼土層を除くと、東西 6.28m、南北 4.64m、高さ 0.12m の長方形の高まりを確認することができた。周囲の溝を含めると東西 8.50m、南北 7.0m 以上とな

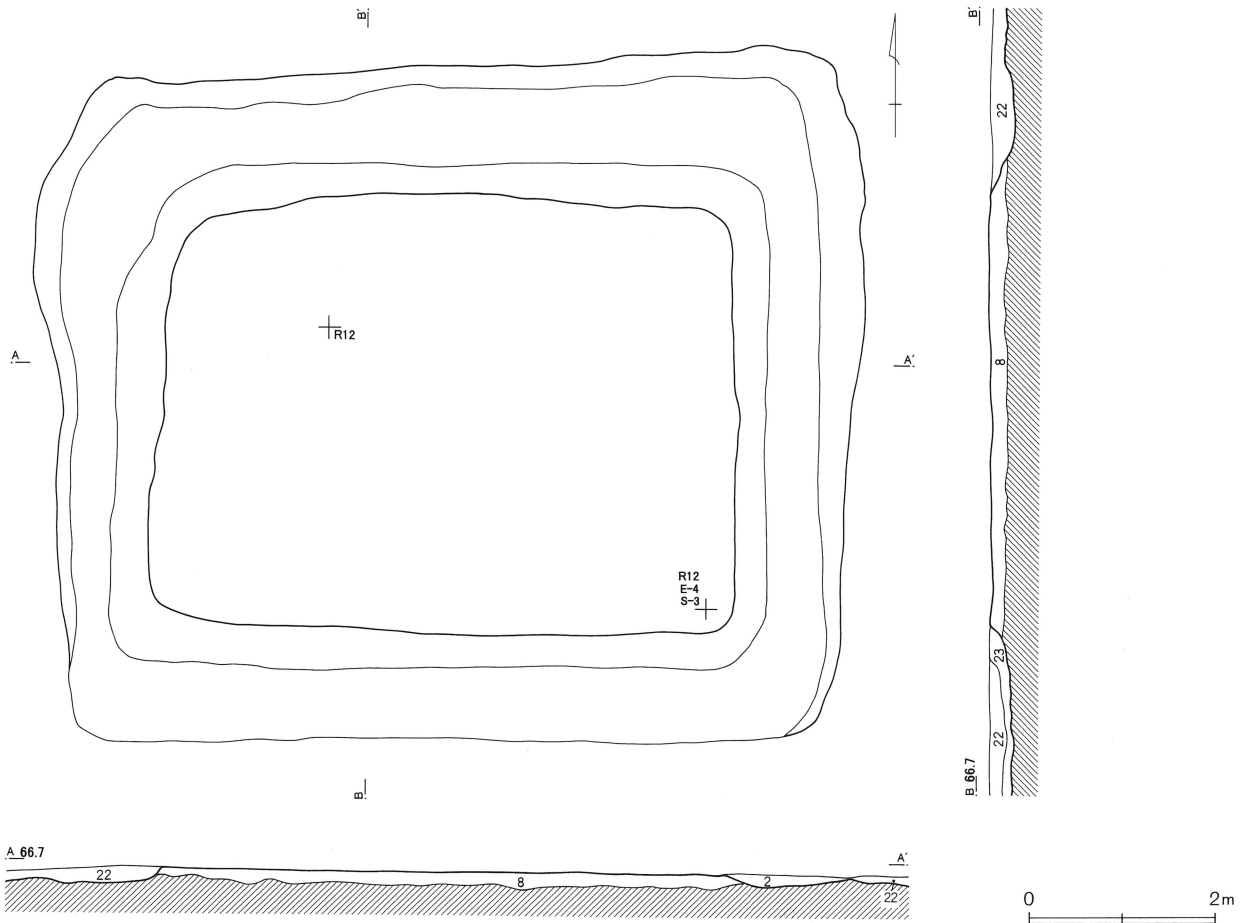
る。東西が長く、長軸方向は N-90°-E である。

周囲には、雨落ち溝状の薄い周溝状の窪みが確認された。南辺側は、不明瞭ではあるが、全周していたと考えられる。長方形の土壇内には、小穴や礎石は確認されなかった。ただしこの長方形の土壇は、版築等の念入りの基礎地業を行ってはいないが、明確な整地層がみられることから建物の地業跡と判断した。

第 1 号建物地形跡でみられた地鎮遺構は、確認できなかった。

第 3 号建物地業跡に関連したの出土遺物は、地業跡

第582図 第3号建物地業跡



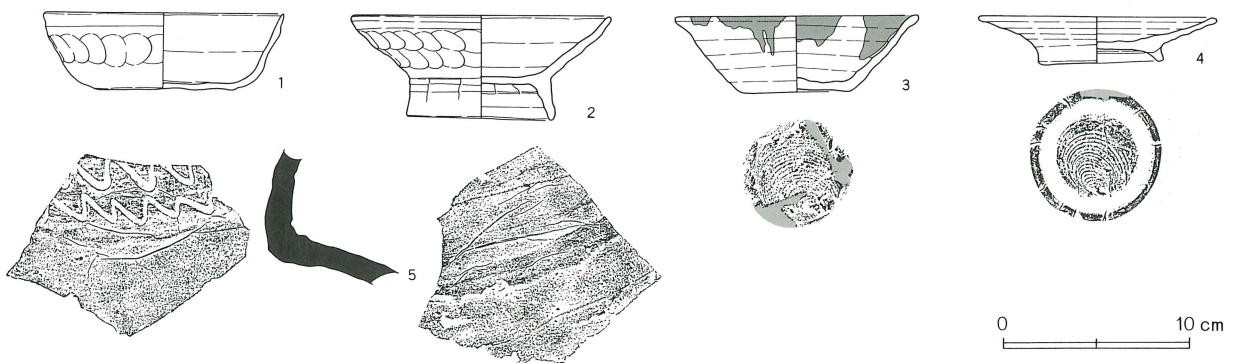
の直上に堆積した焼土層中の遺物である。第584図から第597図は、瓦である。1から6は、軒丸瓦である。7と8は、軒平瓦である。9から110は、丸瓦である。111から429は、平瓦である。

第583図は、土器である。1は、土師器の坏A Vである。2は、土師器の高台付坏である。3は、須恵器

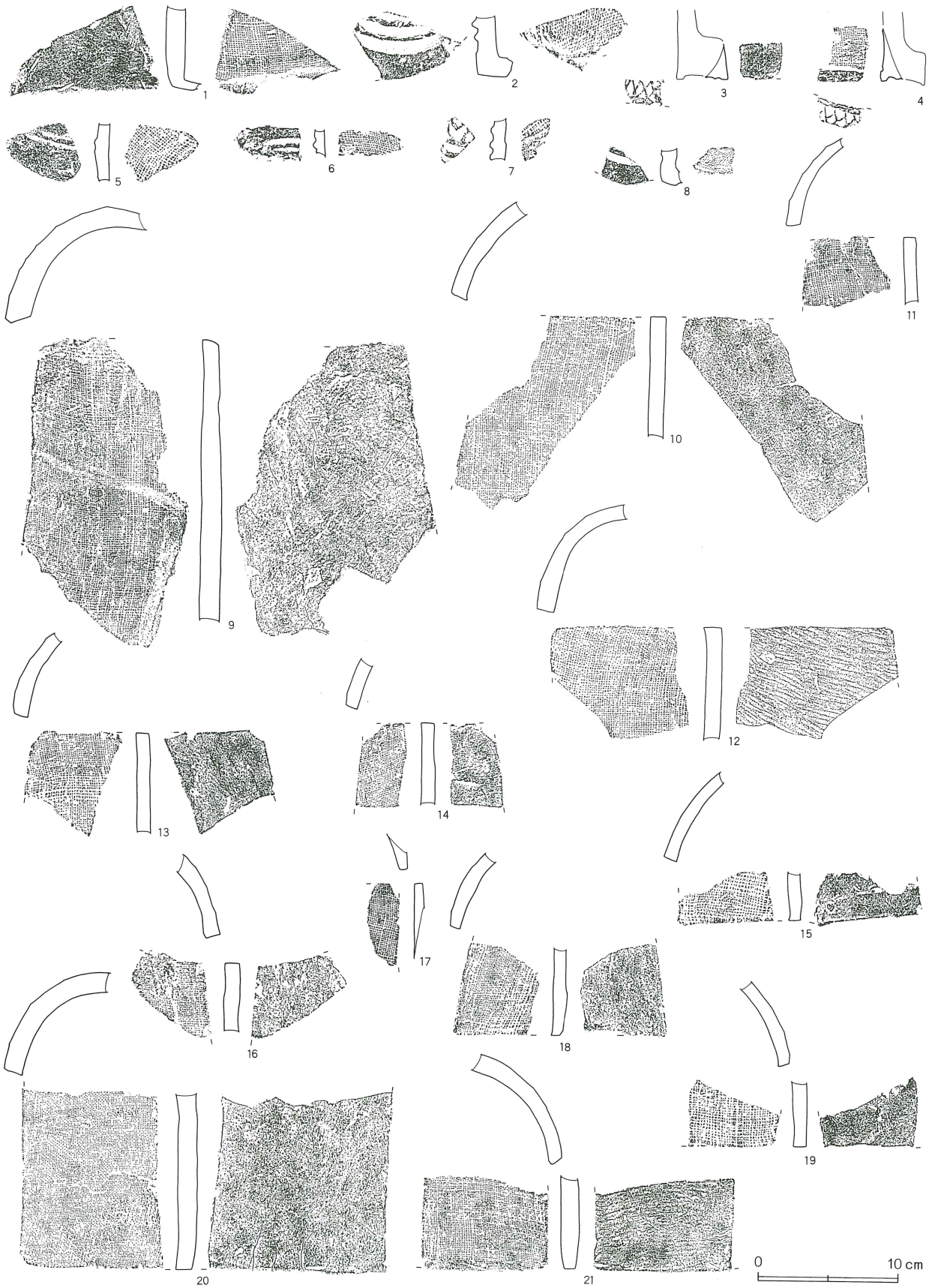
(HS)の椀である。4は、須恵器(HS)の高台付皿である。5は、須恵器(S)の甕である。

またこの三つの建物地業跡の周辺から出土した遺物を次に掲載した。第599図から第602図は、瓦である。1から3は、軒丸瓦である。4・5は、軒平瓦である。6から16は、丸瓦である。17から79は、平瓦である。

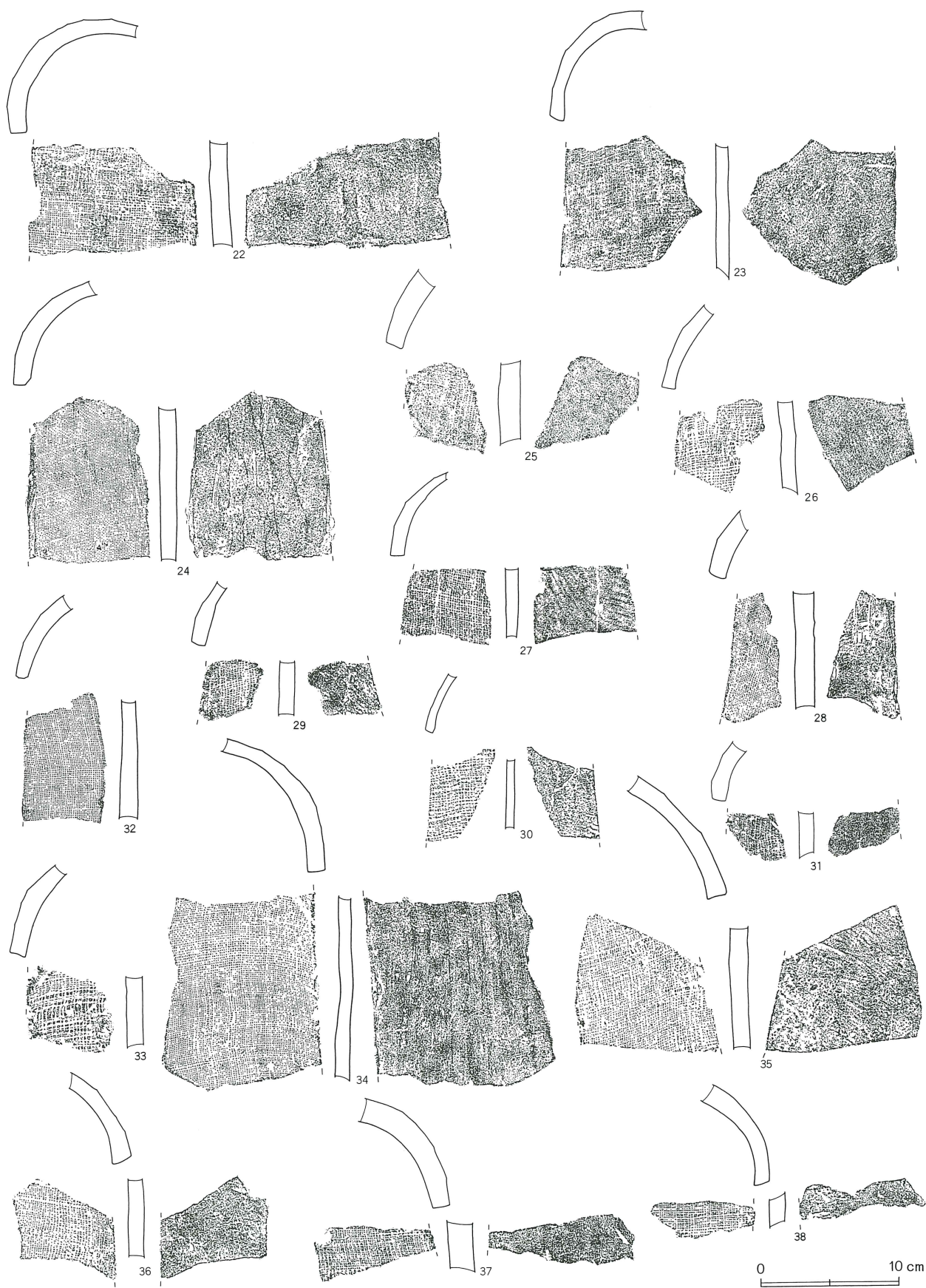
第583図 第3号建物地業跡出土遺物



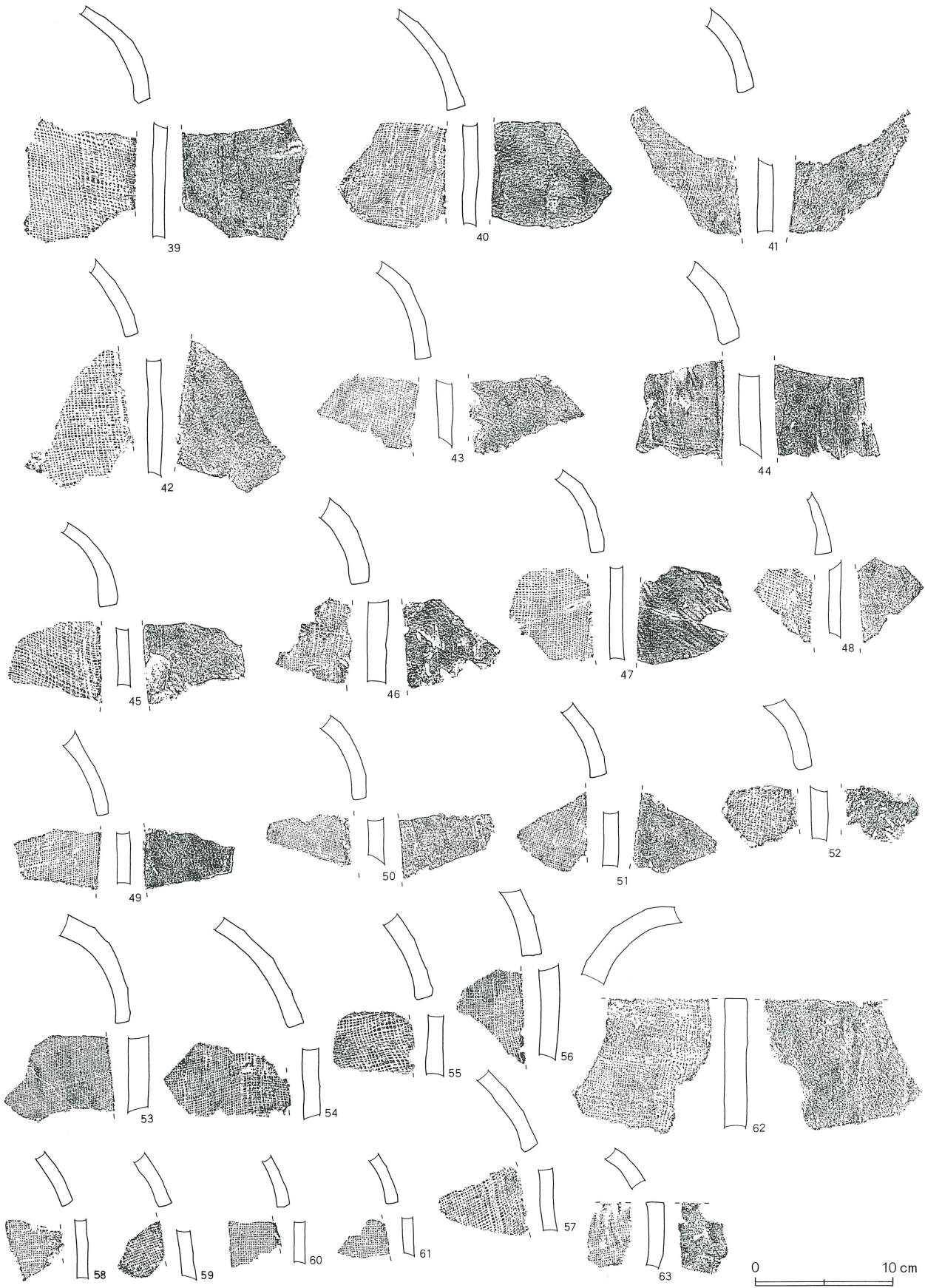
第584图 第3号建物地業跡出土瓦（1）



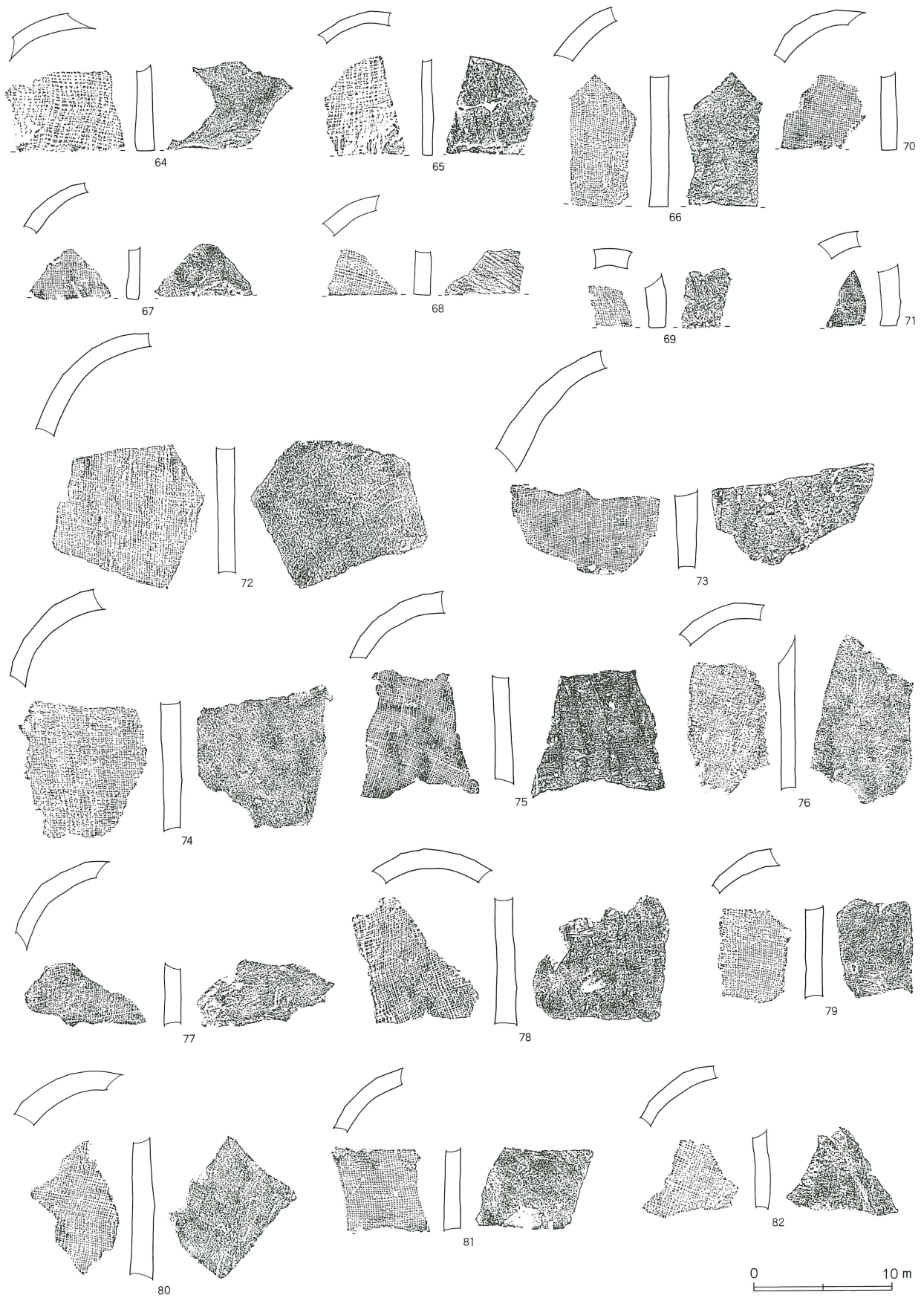
第585図 第3号建物地業跡出土瓦（2）



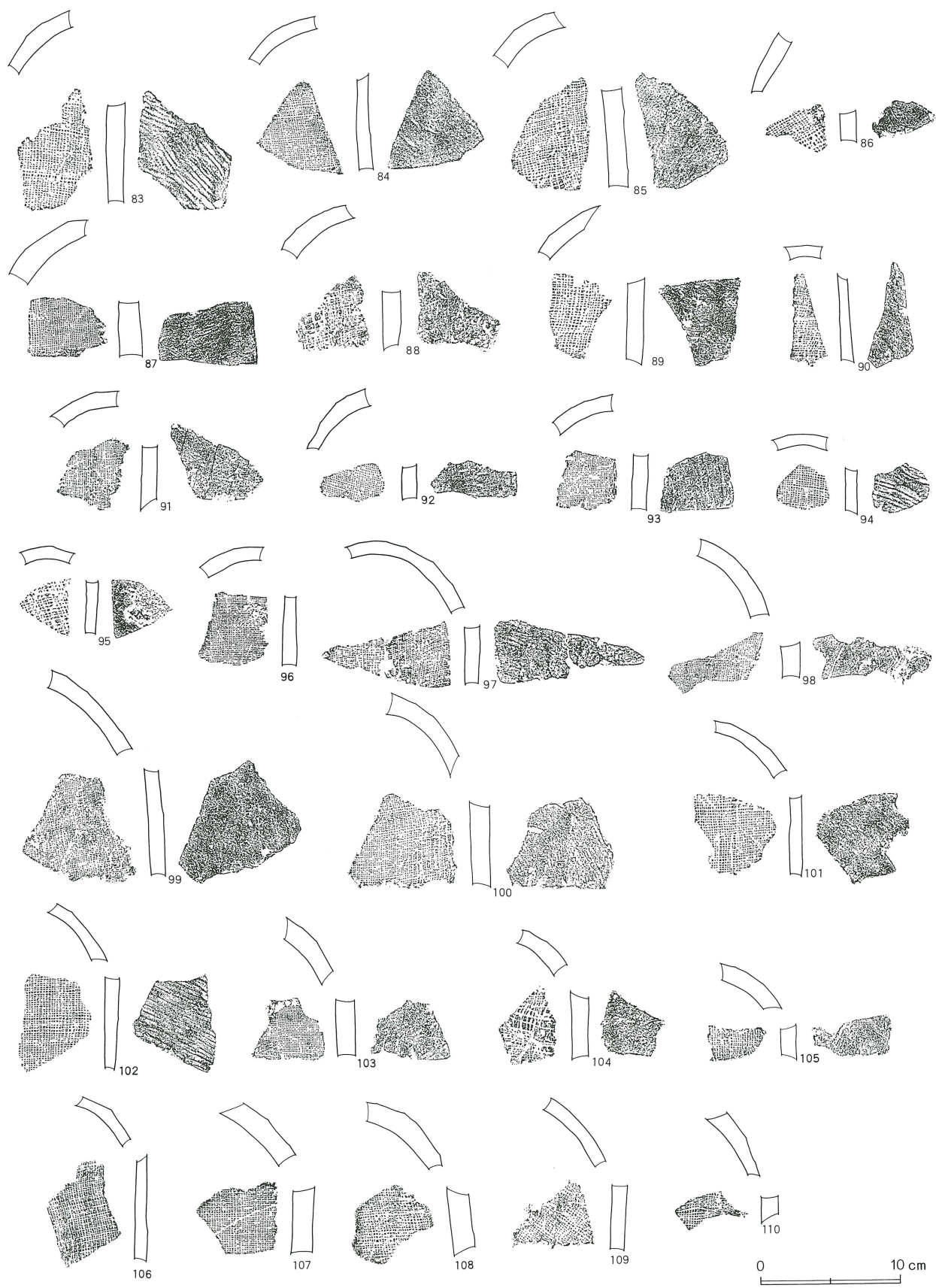
第586図 第3号建物地業跡出土瓦（3）



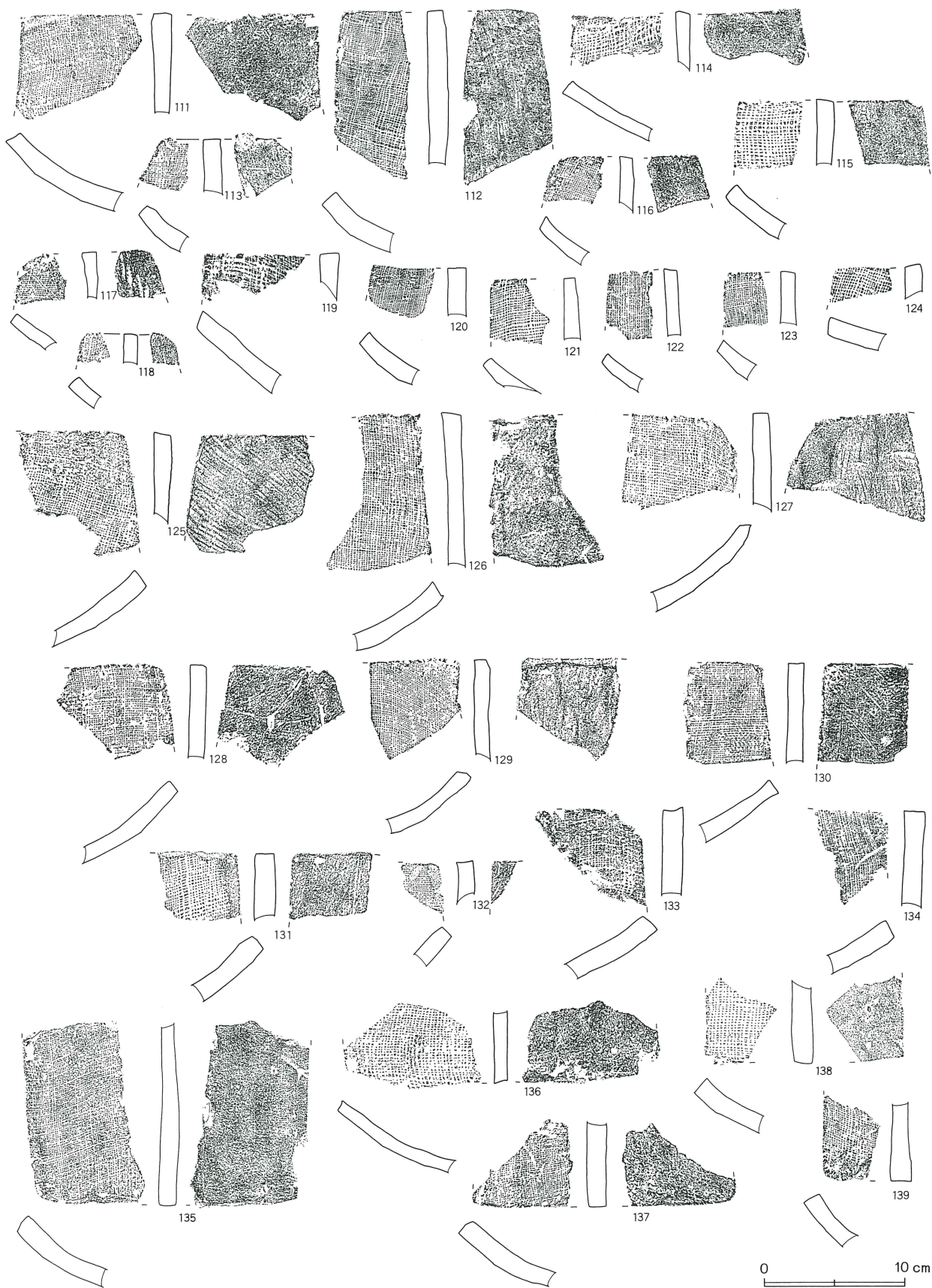
第587図 第3号建物地業跡出土瓦（4）



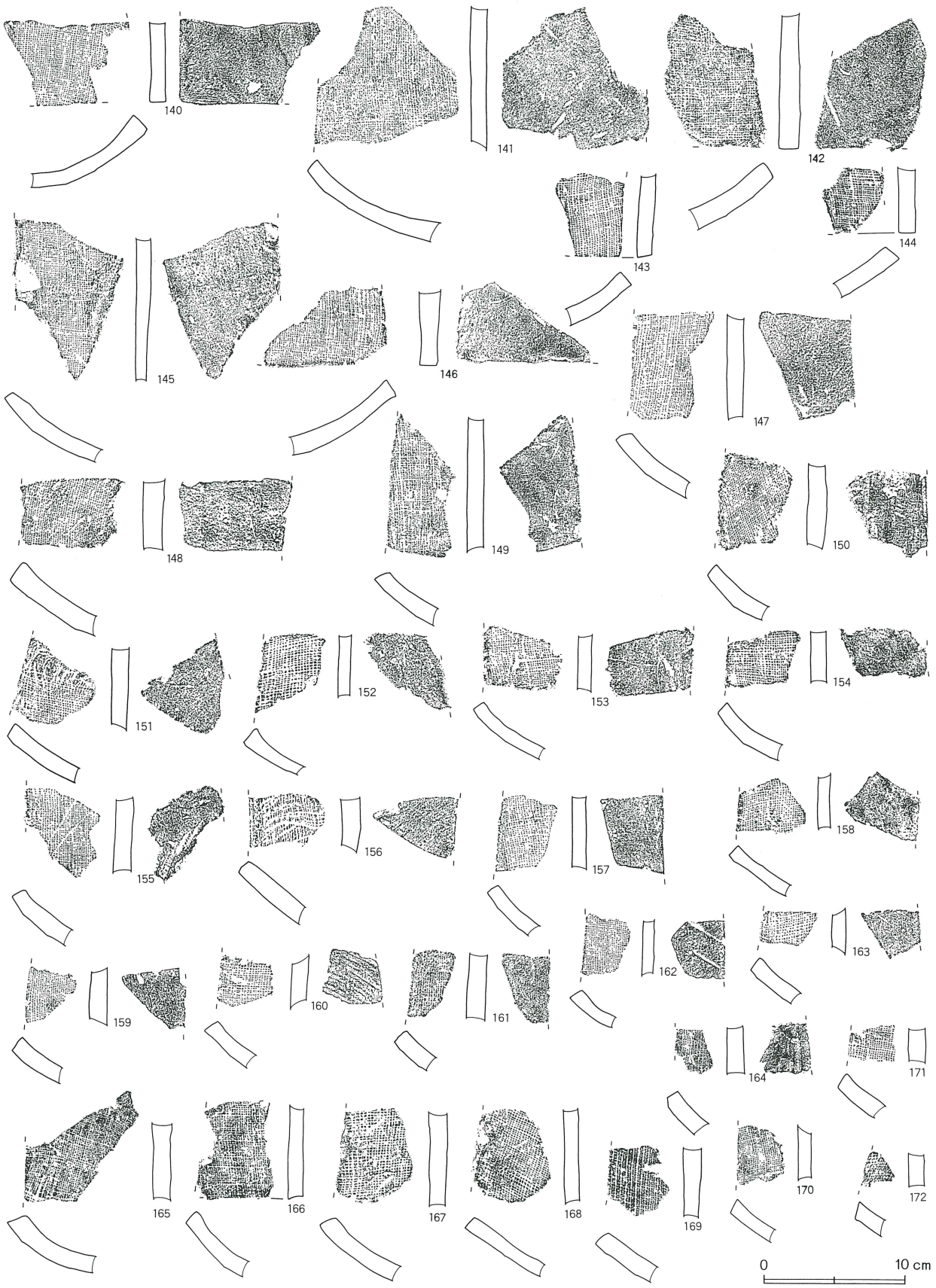
第588图 第3号建物地業跡出土瓦（5）



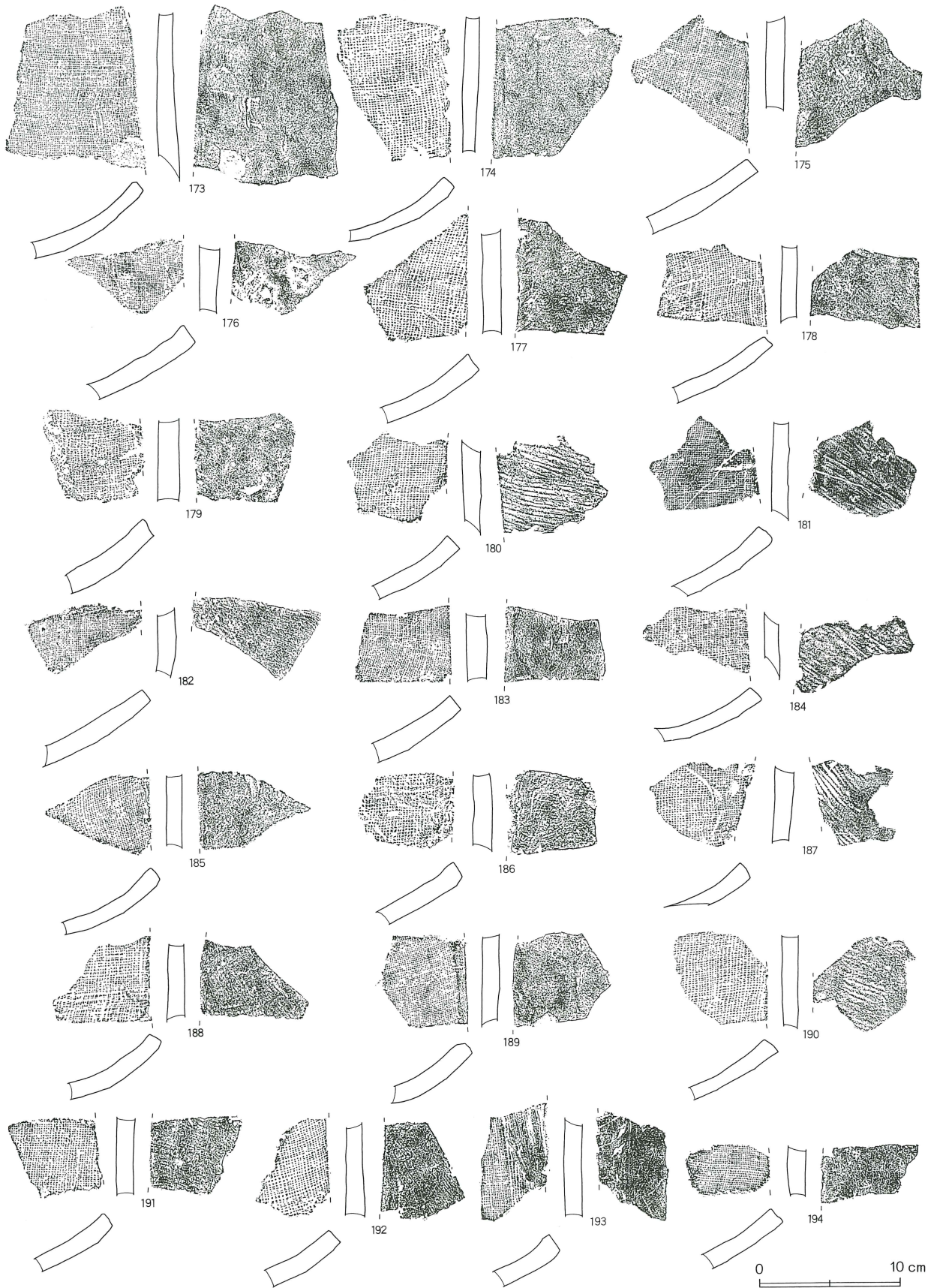
第589図 第3号建物地業跡出土瓦（6）



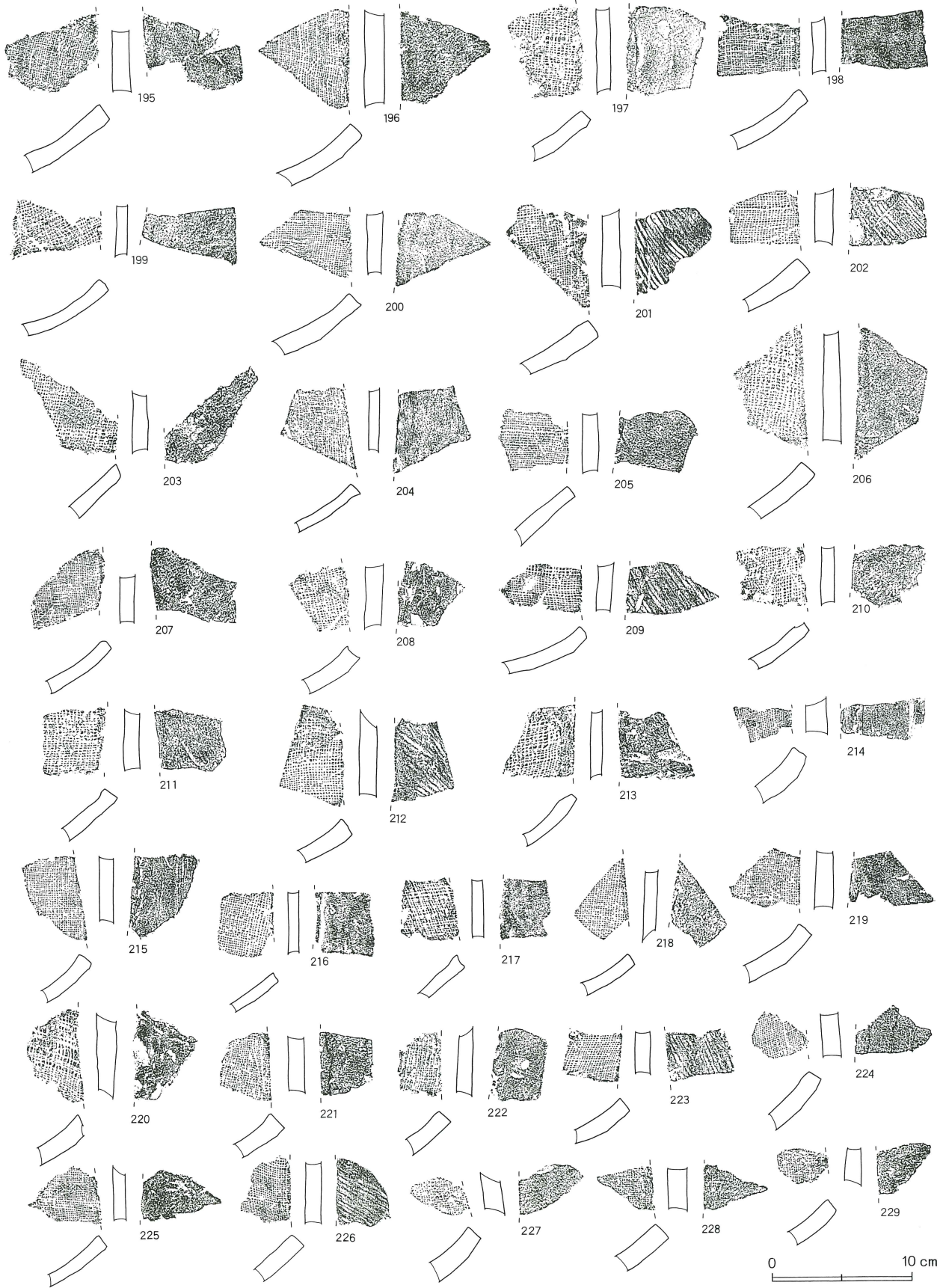
第590图 第3号建物地業跡出土瓦(7)



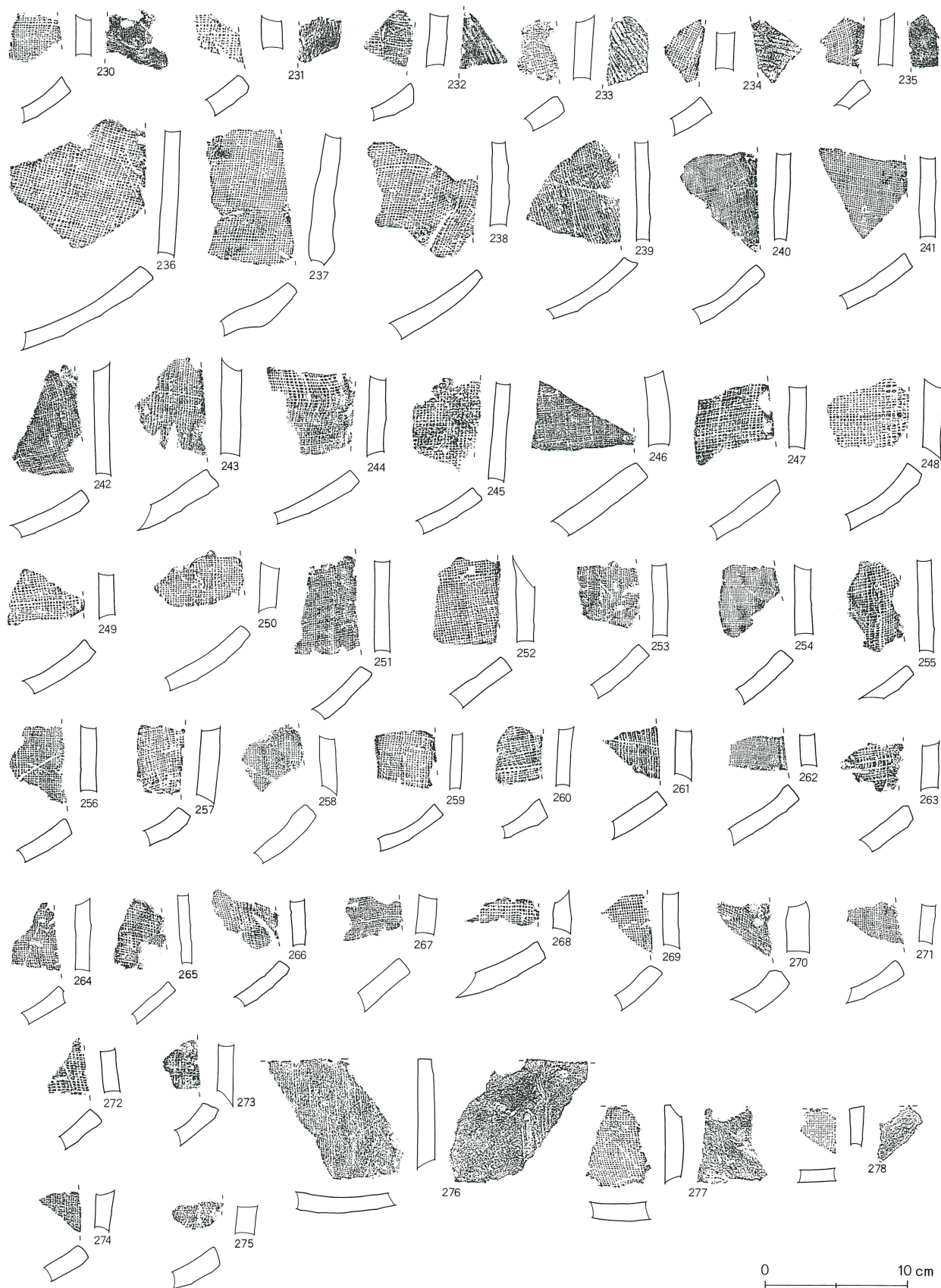
第591図 第3号建物地業跡出土瓦（8）



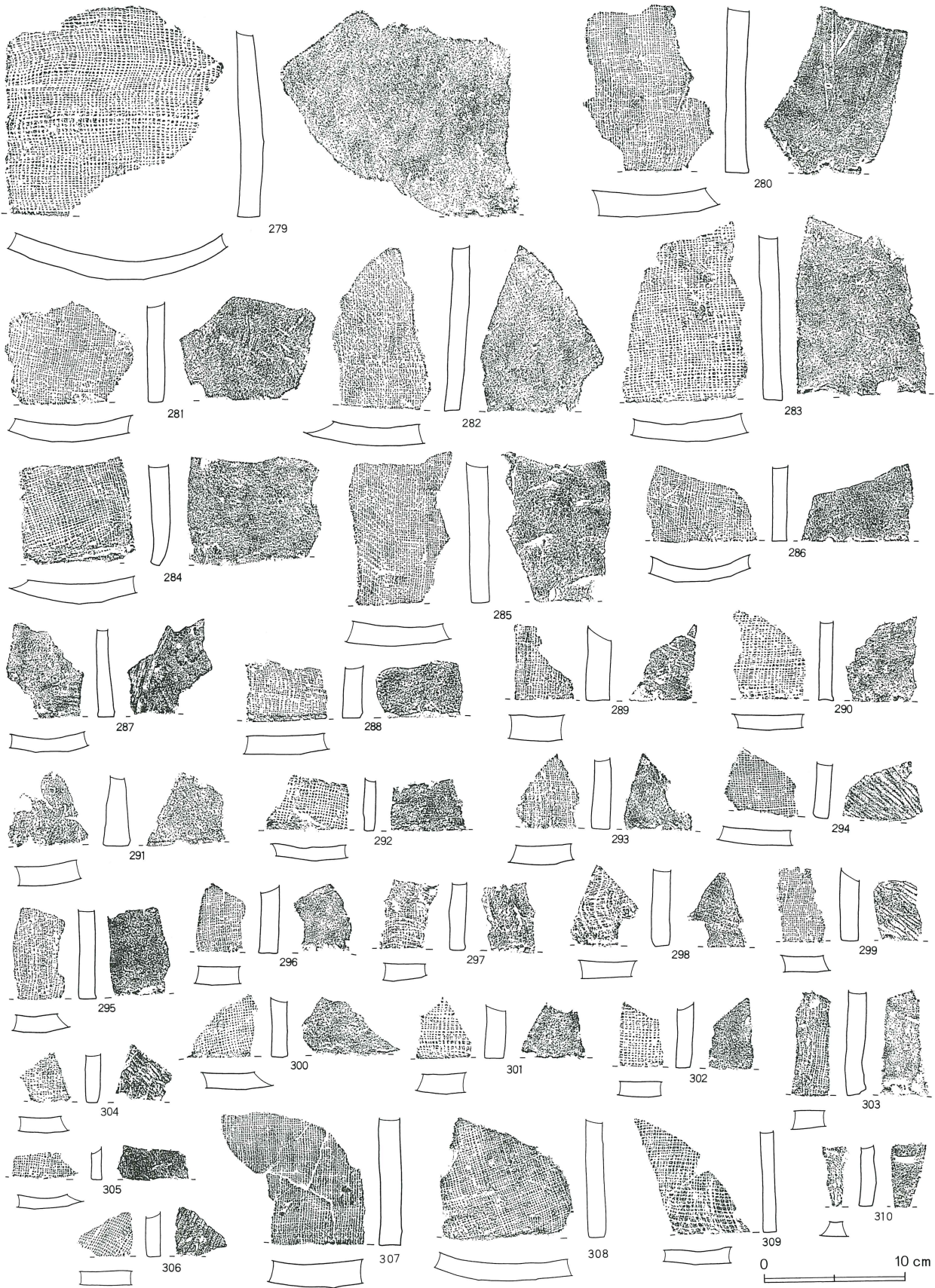
第592图 第3号建物地業跡出土瓦（9）



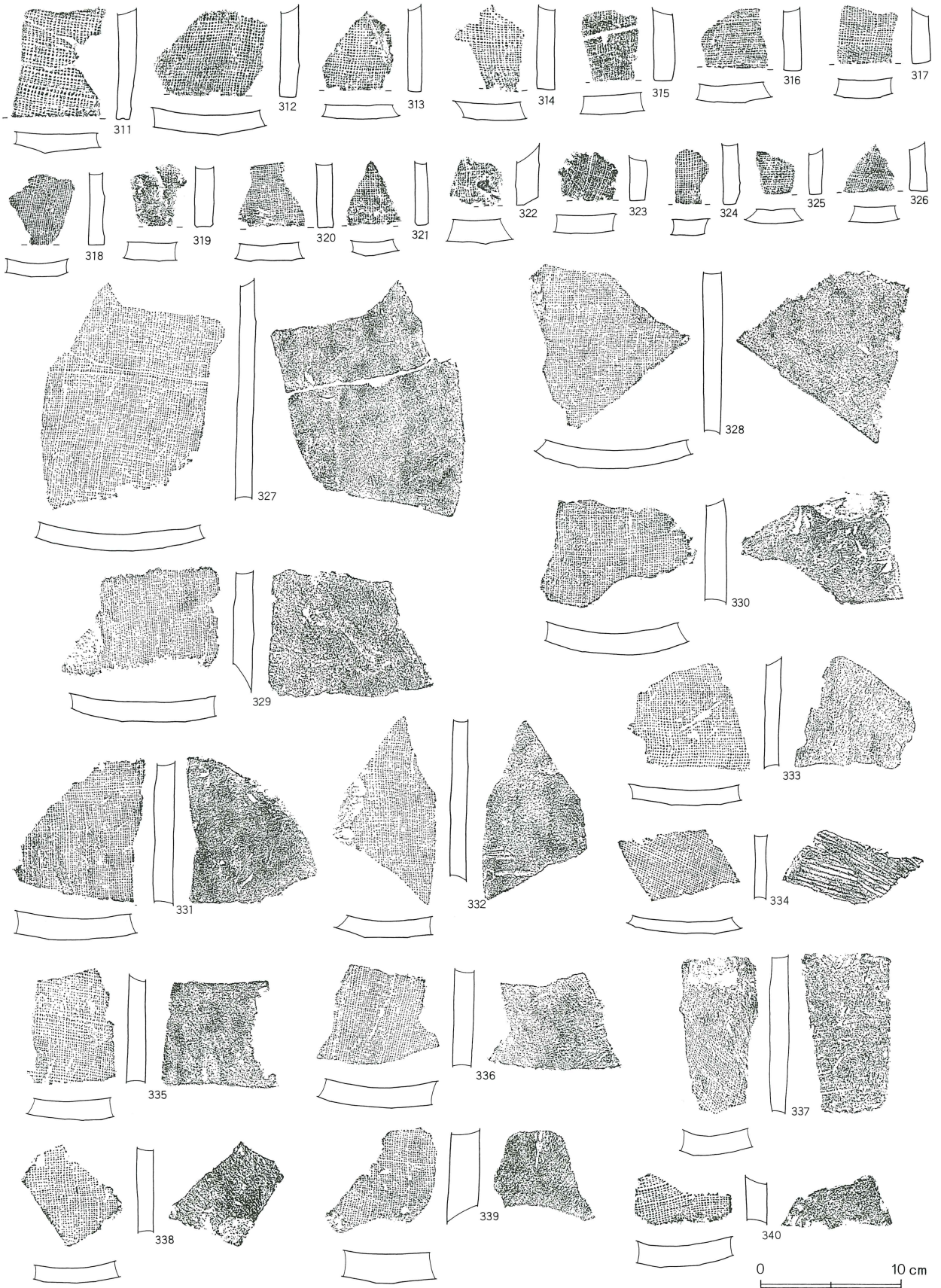
第593图 第3号建物地業跡出土瓦(10)



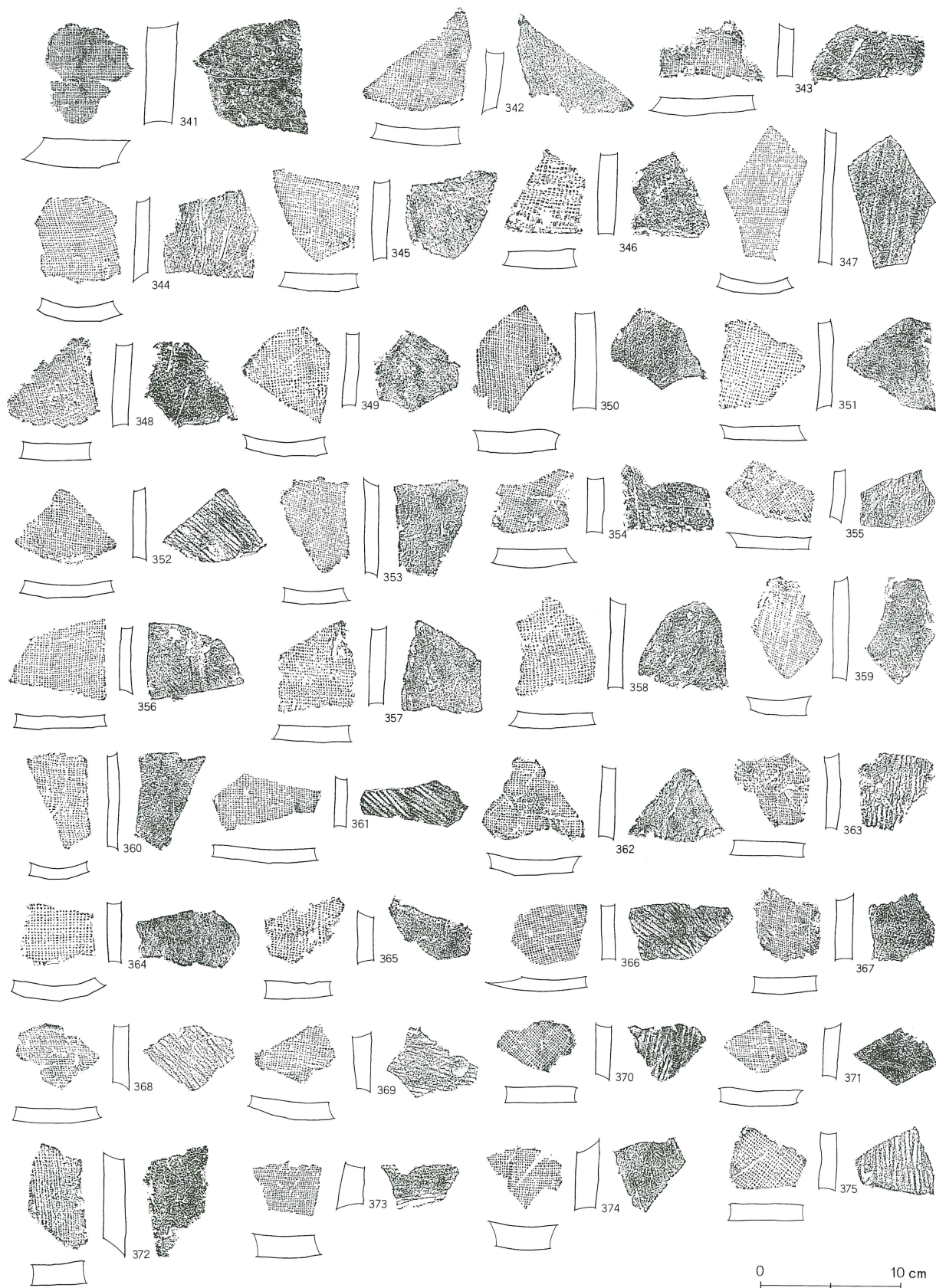
第594图 第3号建物地業跡出土瓦 (11)



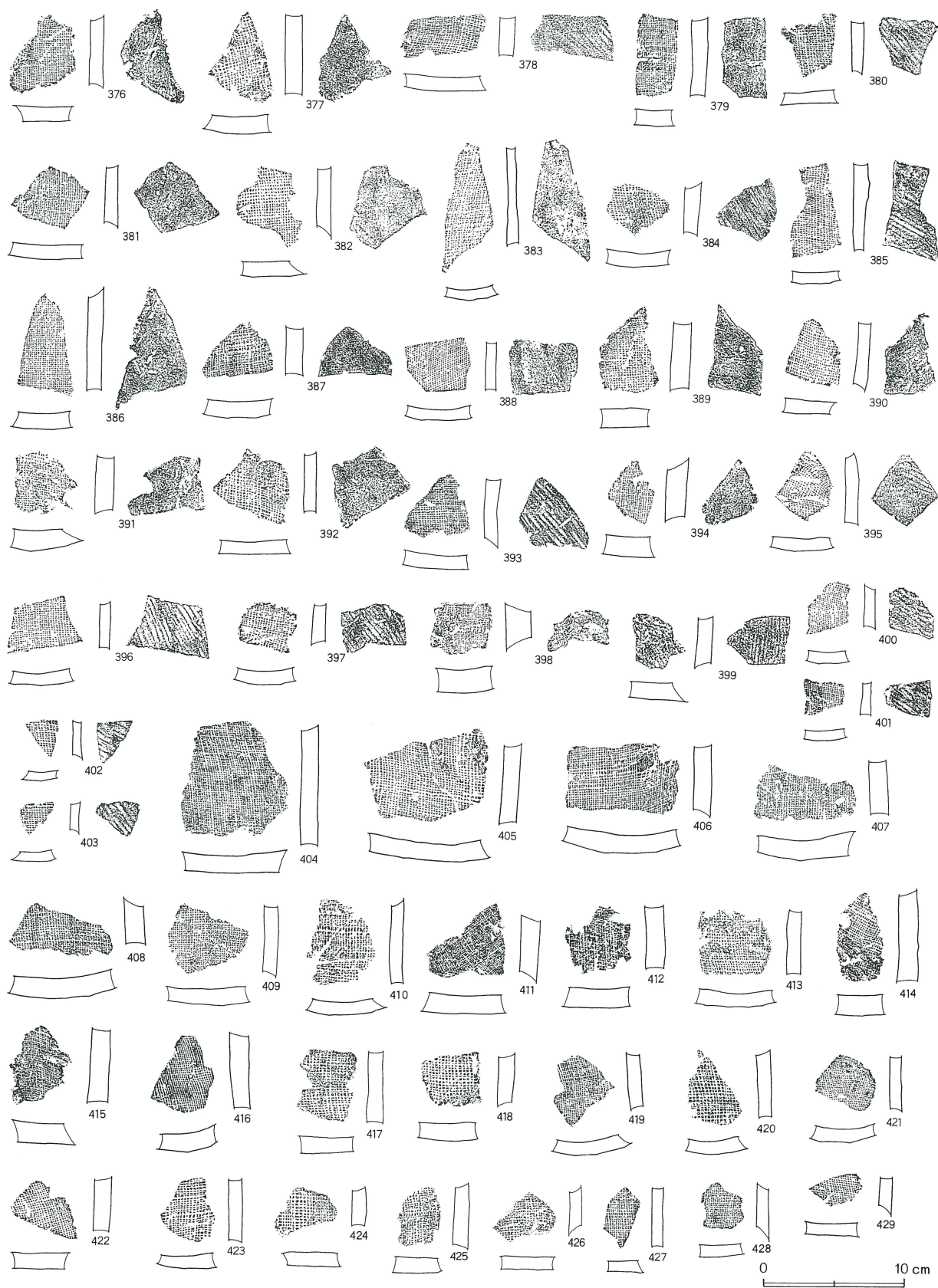
第595图 第3号建物地業跡出土瓦 (12)



第596图 第3号建物地業跡出土瓦 (13)



第597图 第3号建物地業跡出土瓦 (14)



第 446 表 第 3 号建物地業跡出土瓦観察表 (1)

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面	番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
1	軒丸瓦	酸化炎	瓦 当	布	-	53	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
2	軒丸瓦	酸化炎	瓦 当	布	-	54	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
3	軒丸瓦	酸化炎	瓦 当	布	-	55	丸瓦	酸化炎	不 明	布	1 面面取り
4	軒丸瓦	酸化炎	瓦 当	布	-	56	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
5	軒丸瓦	酸化炎	瓦 当	布	-	57	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
7	軒丸瓦	酸化炎	瓦 当	布	-	58	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
8	軒丸瓦	酸化炎	瓦 当	布	-	59	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
9	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	60	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
10	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-	61	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
11	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	62	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
12	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	63	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
12	丸瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	2 面面取り	64	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
13	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	2 面面取り	65	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
14	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	66	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
16	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	67	丸瓦	中間	刷り消し	布	1 面面取り
17	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	68	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
18	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	69	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
19	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2 面面取り	70	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
20	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	2 面面取り	71	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
21	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	72	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
22	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	73	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
23	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	74	丸瓦	中間	刷り消し	布	-
24	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	75	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-
25	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	76	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
26	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	77	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
27	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	2 面面取り	78	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-
28	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	79	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
29	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	80	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
30	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	81	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
31	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	82	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
32	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	83	丸瓦	酸化炎	縄タタキと刷り消し	布	-
33	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	84	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
34	平瓦	中間	刷り消し	布	1 面面取り	84	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
35	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	85	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
36	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	86	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
37	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	87	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り
38	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	88	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-
39	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	89	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
40	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	90	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
41	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	91	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-
42	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-	92	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
43	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	93	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-
44	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	94	丸瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-
45	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	95	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-
46	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	96	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
46	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	97	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-
47	丸瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り	98	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
48	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	99	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
49	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-	100	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
50	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	101	丸瓦	中間	刷り消し	布	-
51	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	102	丸瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-
52	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り						

第 447 表 第 3 号建物地業跡出土瓦観察表 (2)

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面	番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
103	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-	156	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り
104	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	157	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
105	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	158	平瓦	中間	刷り消し	布	1 面面取り
106	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	159	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
107	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	160	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り
108	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-	161	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
109	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-	162	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
110	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	163	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
111	平瓦	中間	刷り消し	布	2 面面取り	164	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
112	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	2 面面取り	165	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
113	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	166	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り
114	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	167	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
115	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	168	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り
116	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	169	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
117	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	170	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
118	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	171	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り
119	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	172	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
120	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2 面面取り	173	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
121	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	174	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
122	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	175	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
123	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	176	平瓦	中間	刷り消し	布	1 面面取り
124	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	177	平瓦	中間	刷り消し	布	1 面面取り
125	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	2 面面取り	178	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
126	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	179	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
127	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	180	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
128	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2 面面取り	181	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り
129	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2 面面取り	182	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
130	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2 面面取り	183	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2 面面取り
131	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	185	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
132	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	186	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
133	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	187	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り
134	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	188	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
135	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	189	平瓦	中間	刷り消し	布	1 面面取り
136	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	190	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り
137	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2 面面取り	191	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
138	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	192	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
139	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	193	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
140	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	194	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
141	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	195	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
142	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	196	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
143	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	197	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
144	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2 面面取り	198	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
145	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	199	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
146	平瓦	中間	刷り消し	布	1 面面取り	200	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
147	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	201	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り
148	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	202	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り
149	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	203	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
150	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り						
151	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り						
152	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り						
153	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り						
154	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-						
155	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り						

第 448 表 第 3 号建物地業跡出土瓦観察表 (3)

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面	番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
204	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	252	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
205	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	253	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
206	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	254	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
207	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	255	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
208	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	256	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
209	丸瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り	257	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
210	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	258	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
211	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	259	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
212	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り	260	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
213	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	261	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
214	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	262	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
215	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	263	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
216	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	264	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
217	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	265	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
218	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	266	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
219	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	267	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
220	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	268	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り
221	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	269	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
222	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	270	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
223	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り	271	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
224	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	272	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
225	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	273	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
226	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り	274	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
227	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	275	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
228	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	276	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
229	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	277	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
230	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	278	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
231	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	279	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
232	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り	280	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
233	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り	281	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
234	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り	282	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
235	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	283	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
236	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	284	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
237	丸瓦	中間	刷り消し	布	2 面面取り	285	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
238	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	286	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
239	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	287	平瓦	中間	刷り消し	布	1 面面取り
240	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	288	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
241	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	289	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
242	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	290	平瓦	中間	刷り消し	布	1 面面取り
243	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	291	平瓦	還元炎	刷り消し	刷り消し	1 面面取り
244	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	292	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
245	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	293	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
246	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	294	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り
247	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	295	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
248	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	296	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
249	平瓦	中間	刷り消し	布	1 面面取り	297	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
250	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	298	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
251	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	299	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	1 面面取り
						300	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
						301	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
						302	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-

第 449 表 第 3 号建物地業跡出土瓦観察表 (4)

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面	番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
303	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	352	平瓦	酸化炎	平行タタキ	布	-
304	平瓦	還元炎	縄タタキ	布	1 面面取り	353	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
305	丸瓦	酸化炎	平行タタキ	布	1 面面取り	354	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
306	平瓦	還元炎	平行タタキ	布	1 面面取り	355	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
307	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	356	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
308	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	357	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
309	平瓦	中間	刷り消し	布	1 面面取り	358	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
310	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	359	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
311	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	360	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
312	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	361	平瓦	還元炎	平行タタキ	布	-
313	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	362	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
314	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	363	平瓦	還元炎	平行タタキ	布	-
315	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	364	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
316	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	365	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
317	平瓦	酸化炎	平行タタキ	布	1 面面取り	366	平瓦	還元炎	平行タタキ	布	-
318	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	367	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
319	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	368	平瓦	酸化炎	平行タタキ	布	-
320	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	369	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
321	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	370	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
322	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	371	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
323	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	372	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
324	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	373	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
325	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	374	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
326	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	375	平瓦	酸化炎	平行タタキ	布	-
327	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	376	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
328	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	377	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
329	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	378	平瓦	酸化炎	平行タタキ	布	-
330	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	379	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
331	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	380	平瓦	酸化炎	平行タタキ	布	1 面面取り
332	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-	381	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
333	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	382	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
334	平瓦	酸化炎	平行タタキ	布	-	383	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-
335	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	384	丸瓦	酸化炎	平行タタキ	布	-
336	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	385	平瓦	還元炎	平行タタキ	布	-
337	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	386	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
338	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-	387	平瓦	還元炎	平行タタキ	布	-
339	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	388	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
340	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	389	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
341	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	390	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
342	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	391	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
343	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	392	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
344	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	393	平瓦	酸化炎	平行タタキ	布	-
345	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	394	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
346	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	395	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
347	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-						
348	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-						
349	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-						
350	平瓦	酸化炎	平行タタキ	布	-						
351	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-						

第450表 第3号建物地業跡出土瓦観察表(5)

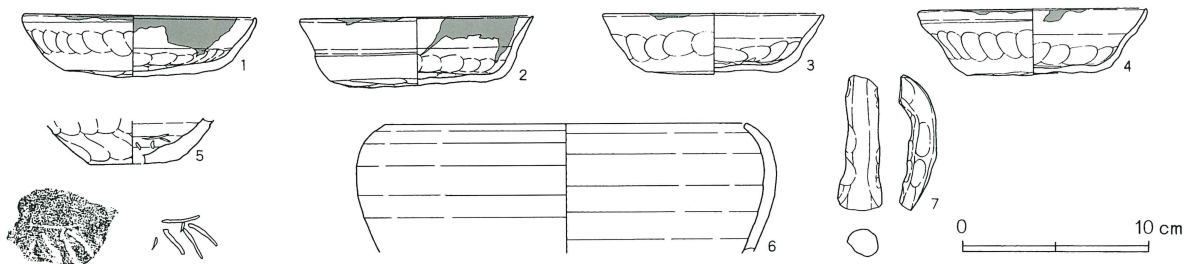
番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面	番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
396	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	-	413	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
397	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	-	414	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
398	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	415	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
400	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-	416	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
401	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-	417	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
402	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	418	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
403	丸瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-	419	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
404	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	420	丸瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-
405	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	421	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-
406	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	422	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
407	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	423	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-
408	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	424	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
409	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	425	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
410	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	426	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
411	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-	427	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
412	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	428	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	-
						429	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-

第451表 第3号建物地業跡出土遺物観察表

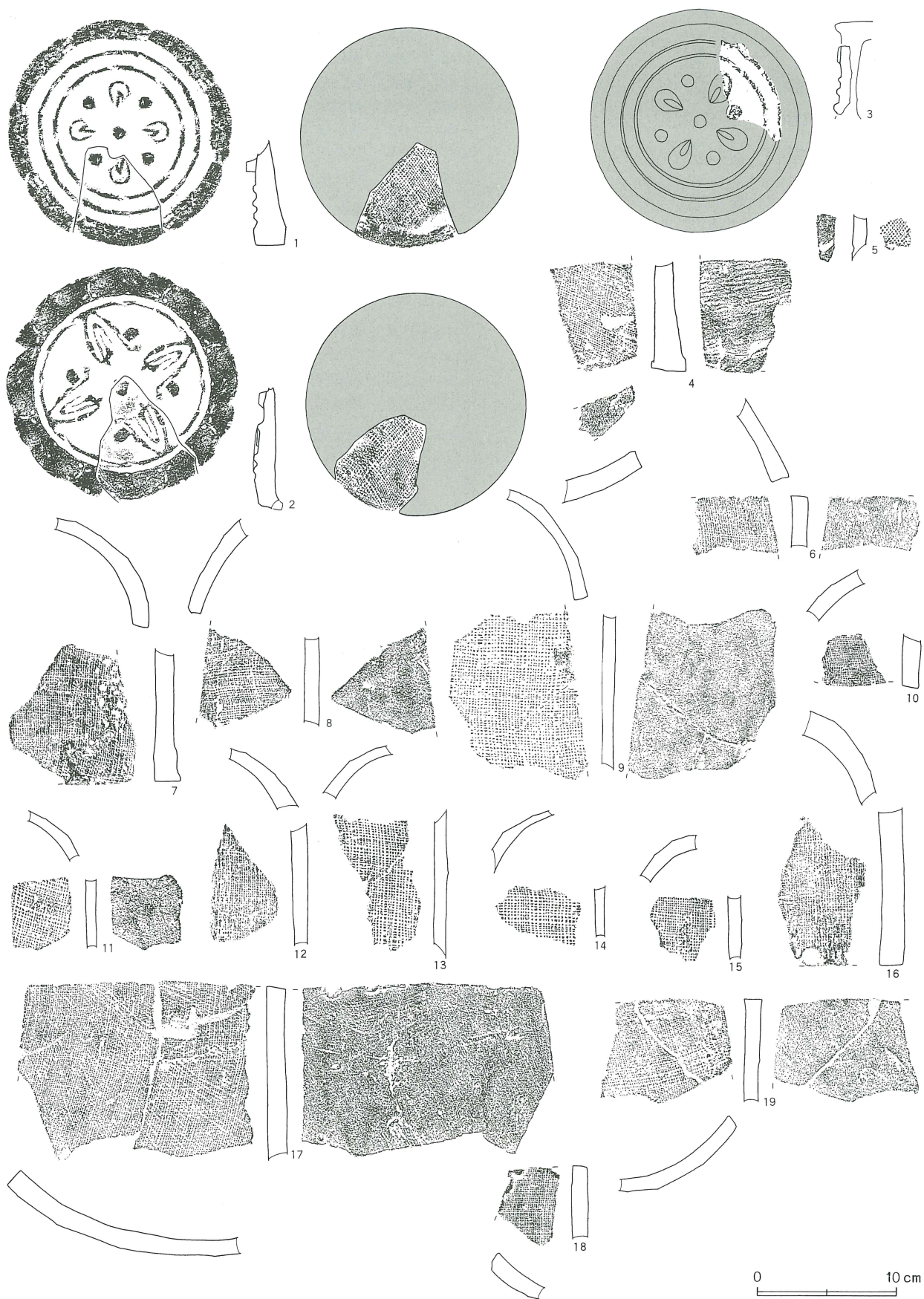
番号	器種	種別	口径	器高	罅	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A V	H	13.0	4.0		7.3	B, D, E, H	普通		暗茶	50	
2	高台付坏	H	14.0	5.4		7.2	B, D, E, H	普通		黄橙	40	
3	椀	H S	13.0	4.0		5.4	B, E, G	良好		にぶい黄橙	95	
4	高台付皿	H S	12.1	2.6		3.1	B, E, G	良好		黄橙	80	
5	甕	S					B, E	良好		青灰	5	

第598図は、土器である。1から5は、土師器の坏である。2は、坏Cである。5は、坏Bである。ほかは、坏AMである。6は、須恵器(NS)の鉄鉢である。7は、須恵器(NS)の長頸壺の把手である。

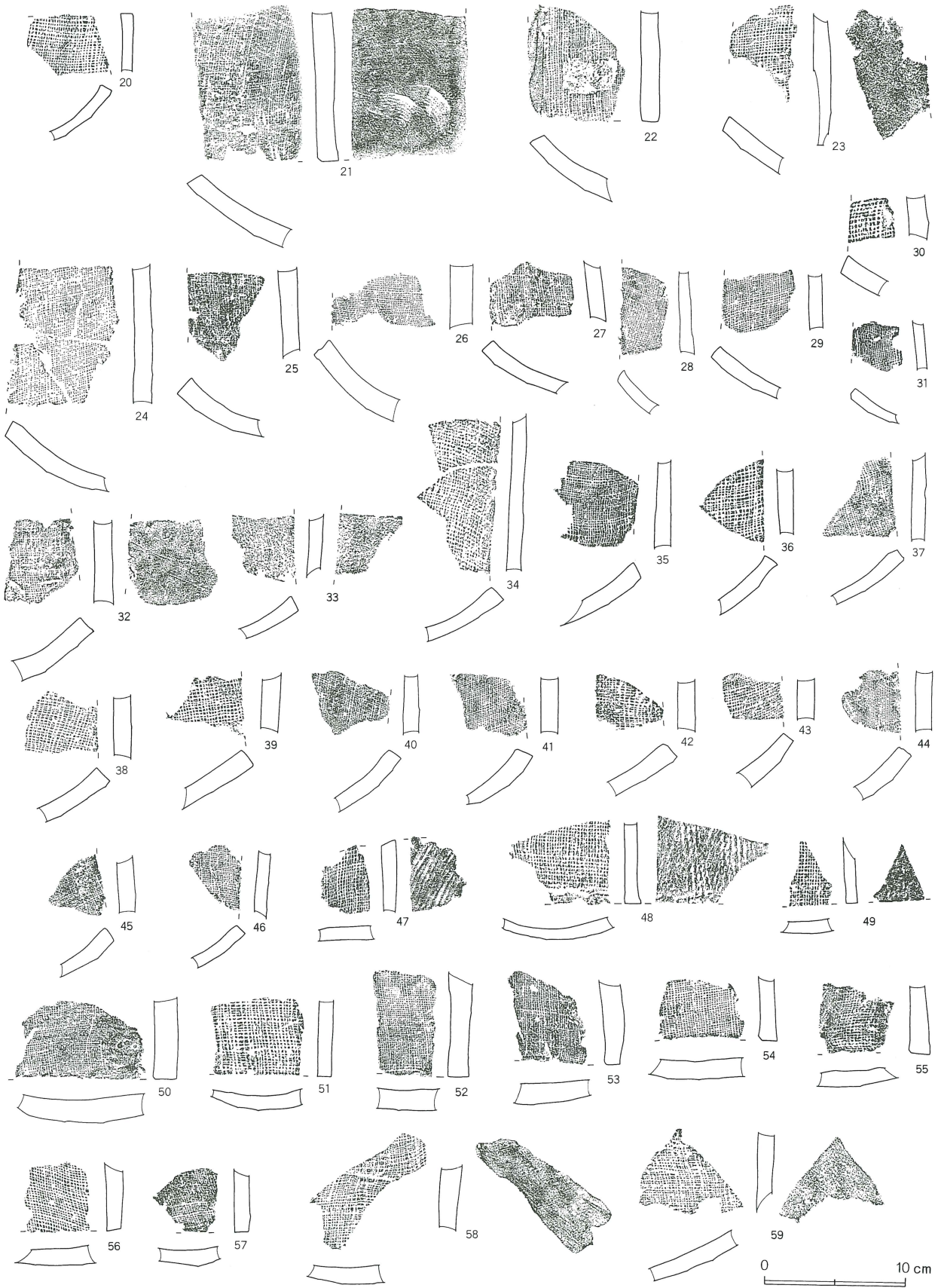
第598図 瓦葺き建物区画周辺出土遺物



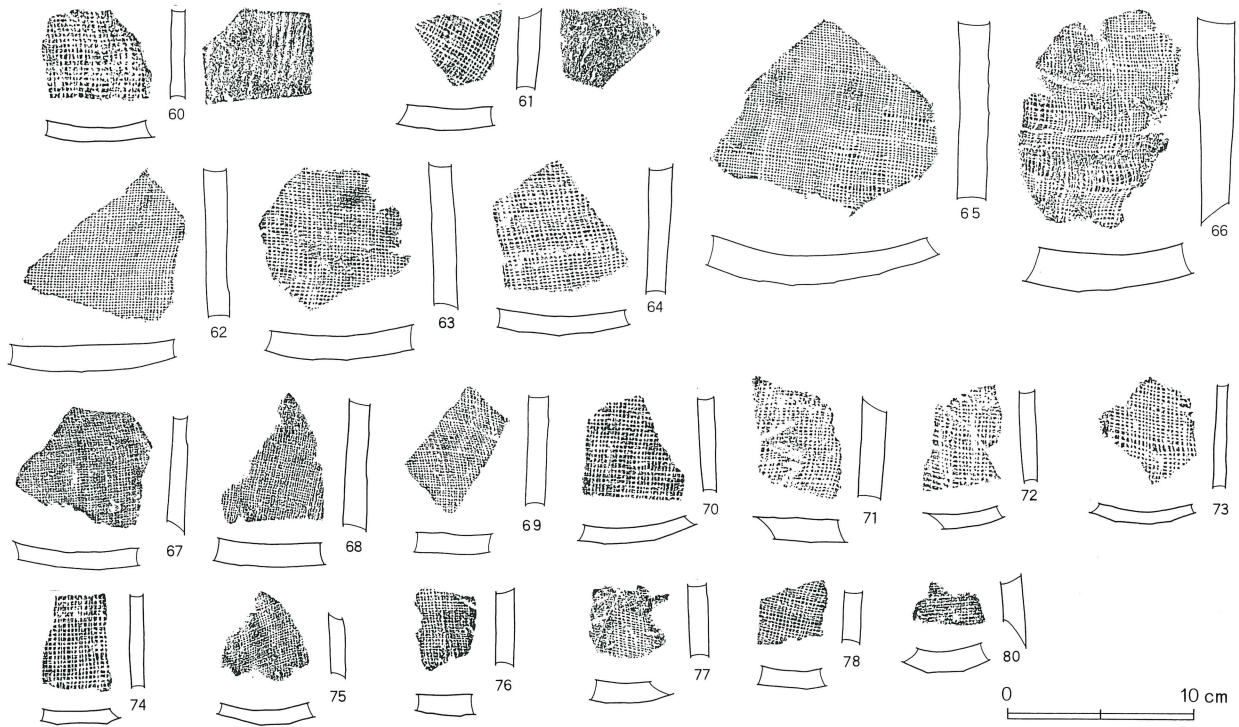
第599图 第1~3号建物地業跡周辺出土瓦(1)



第600図 第1～3号建物地業跡周辺出土瓦（2）



第601図 第1～3号建物地業跡周辺出土瓦（3）



第452表 第1～3号建物地業跡周辺出土瓦観察表（1）

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面	番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
1	軒丸瓦	中間	瓦当	布	-	28	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1面面取り
2	軒丸瓦	還元炎	瓦当	布	-	29	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
3	軒丸瓦	酸化炎	氏当	布	-	30	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
4	軒丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	31	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
5	軒丸瓦	酸化炎	氏当	布	-	32	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
6	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面面取り	33	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
7	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り	34	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	1面面取り
8	平瓦	中間	刷り消し	布	1面面取り	35	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
9	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り	36	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
10	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り	37	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
11	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	38	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
12	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	39	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
13	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	40	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
14	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	41	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
15	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	42	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
16	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り	43	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
17	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2面面取り	44	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1面面取り
18	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面面取り	45	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
19	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面面取り	46	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
20	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面面取り	47	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
21	平瓦	酸化炎	円形タタキと刷り消し	布	2面面取り	48	丸瓦	酸化炎	縄タタキと刷り消し	布	1面面取り
22	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面面取り	49	平瓦	酸化炎	縄タタキと刷り消し	布	-
23	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面面取り	50	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
24	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り	51	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
25	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り	52	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
26	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1面面取り						
27	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1面面取り						

第 453 表 第 1～3 号建物地業跡周辺出土瓦観察表 (2)

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面	番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
53	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	67	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
54	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	68	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
55	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	69	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
56	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面取り	70	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-
57	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面取り	71	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
58	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面取り	72	平瓦	酸化炎	縄タタキと刷り消し	布	-
59	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-	73	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
60	平瓦	酸化炎	縄タタキと刷り消し	布	1 面取り	74	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-
61	平瓦	酸化炎	平行タタキと刷り消し	布	-	75	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
62						76	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
63	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-	77	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
64	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	78	平瓦	還元炎	平行タタキと刷り消し	布	-
65						79	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
66	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-						

第 454 表 瓦葺き建物区画周辺出土土器観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鋳	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A	IV	H	12.0	3.3		7.0	B, C, E, H	普通	暗こげ茶	60	
2	坏	C	H	12.0	3.6		7.3	B, E, H	普通	黄褐	60	
3	坏 A	IV	H	12.0	3.2		7.0	B, E, H	普通	淡橙	40	
4	坏 A	IV	H	12.0	3.5		6.7	B, D, E, H	普通	橙	70	
5	坏	B	H					B, D, E, H	普通	暗橙	30	刻書 砂
6	鉄鉢	NS		19.0				H, J	良好	灰白	15	2 号基壇北側
7	把手	NS						B, D	良好	灰		

第 602 図 鬼瓦



地藏堂表面採集瓦について

第603図は、中堀遺跡と現御陣場川の流路を隔てて、南に位置する地藏堂の周辺から採集した瓦である。

地藏堂は、わずかに10~20cmほど周囲より高く作られた地業の上に立てられており、その建築年代は明らかではないが、明治10年の迅速図には、姿を見ることができる。

このやや高い地膨れ上の地表で、第603図にみる瓦類が採集できた。またこの堂の周囲は、墓地となっており、この墓地でも瓦類を採集することができた。

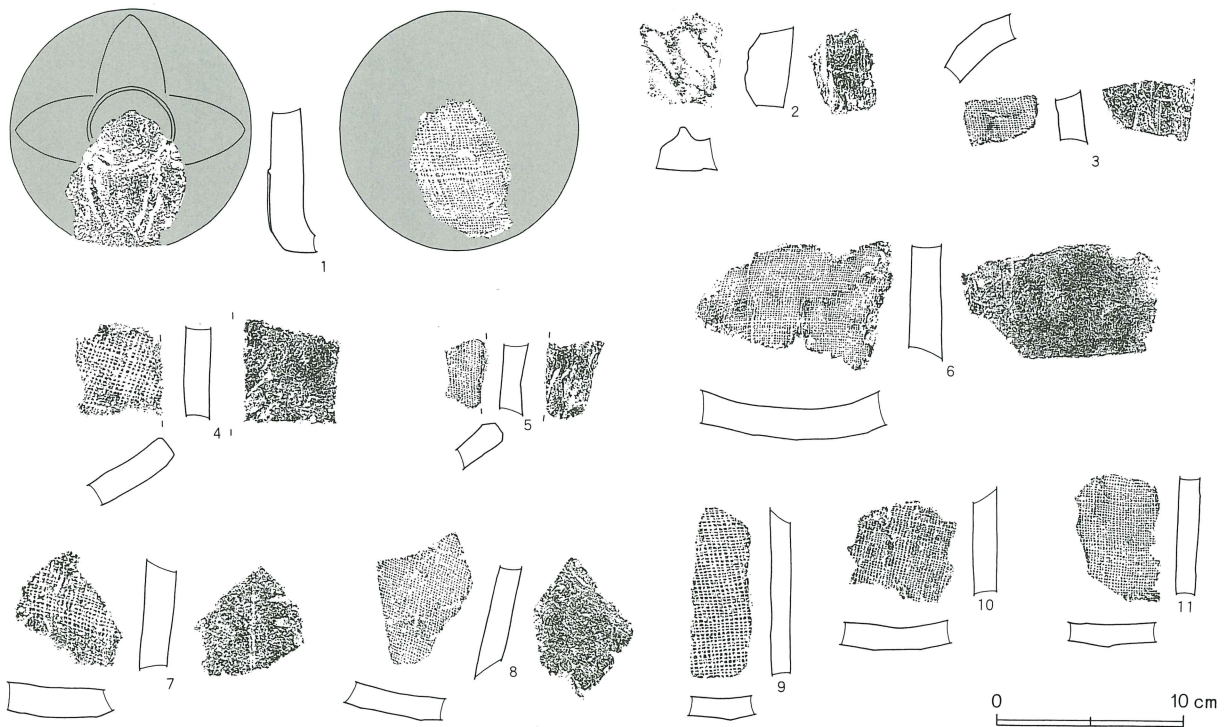
1は、軒丸瓦である。2は、鬼瓦である。

3は、丸瓦である。4から11は、平瓦である。

第455表 地藏堂表面採集瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
1	軒丸瓦	酸化炎	瓦 当	布	-
2	平瓦	還元炎	隆 帯	刷り消し	-
3	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-
4	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
5	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
6	鬼瓦	還元炎	刷り消し	布	-
7	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
8	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
9	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
10	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
11	平瓦	中間	刷り消し	布	-

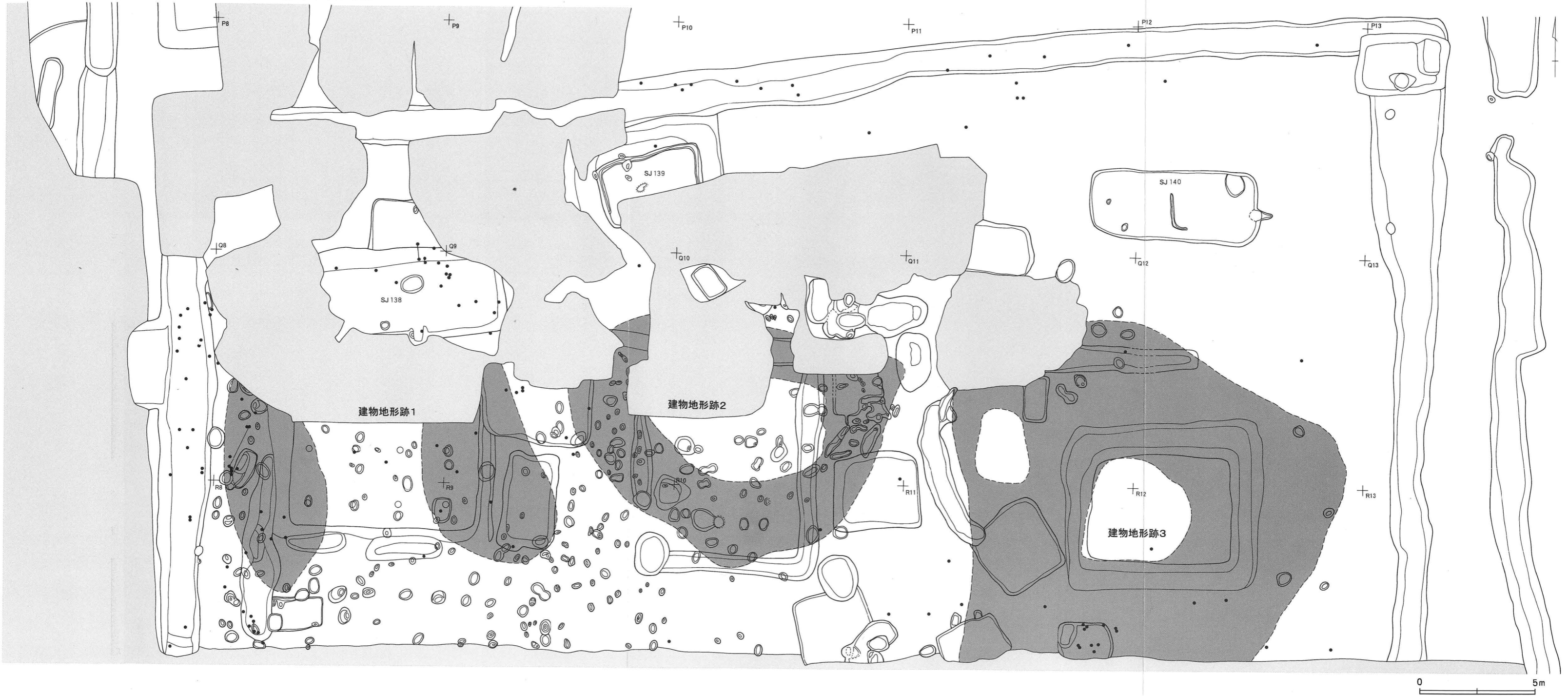
第603図 地藏堂表面採集瓦



第604图 第1~3号建物地業跡周辺瓦(■)出土状態



第605図 第1～3号建物地業跡周辺の9世紀の土器(●)出土状況



第606図 第1～3号建物地業跡周辺の10世紀の遺物(●)出土状況



(4) 区画溝・溝・集石列

中堀遺跡が、他の古代の東国の遺跡と大きく異なる一つとして、遺跡内が、溝・柵列・道路などでいくつかに区画された遺跡であったことをあげられる。

ところで中堀遺跡の区画施設は、後に考察するように当初から、また一朝一夕で成立したのではなく、時期によって区画の形態も様々に変化し、全遺構を掘削すると、最終的に全体図にみられるような形態へとなっていたと推定した。

中堀遺跡の今回の調査区では、区画施設として区画溝33条、溝42条、集石列1列、柵列23列、道路状遺構2条、橋状遺構1本、を確認することができた。その中でまず区画溝、溝、集石列について述べることにしたい。なおここでは、区画溝は、建物群や土壌などの軸と一致し、比較的規模が大きく、道路跡の側溝等と

一致する場合、溝は、小規模で掘り込みも浅く、直線的ではない場合がみられるものを一括した。

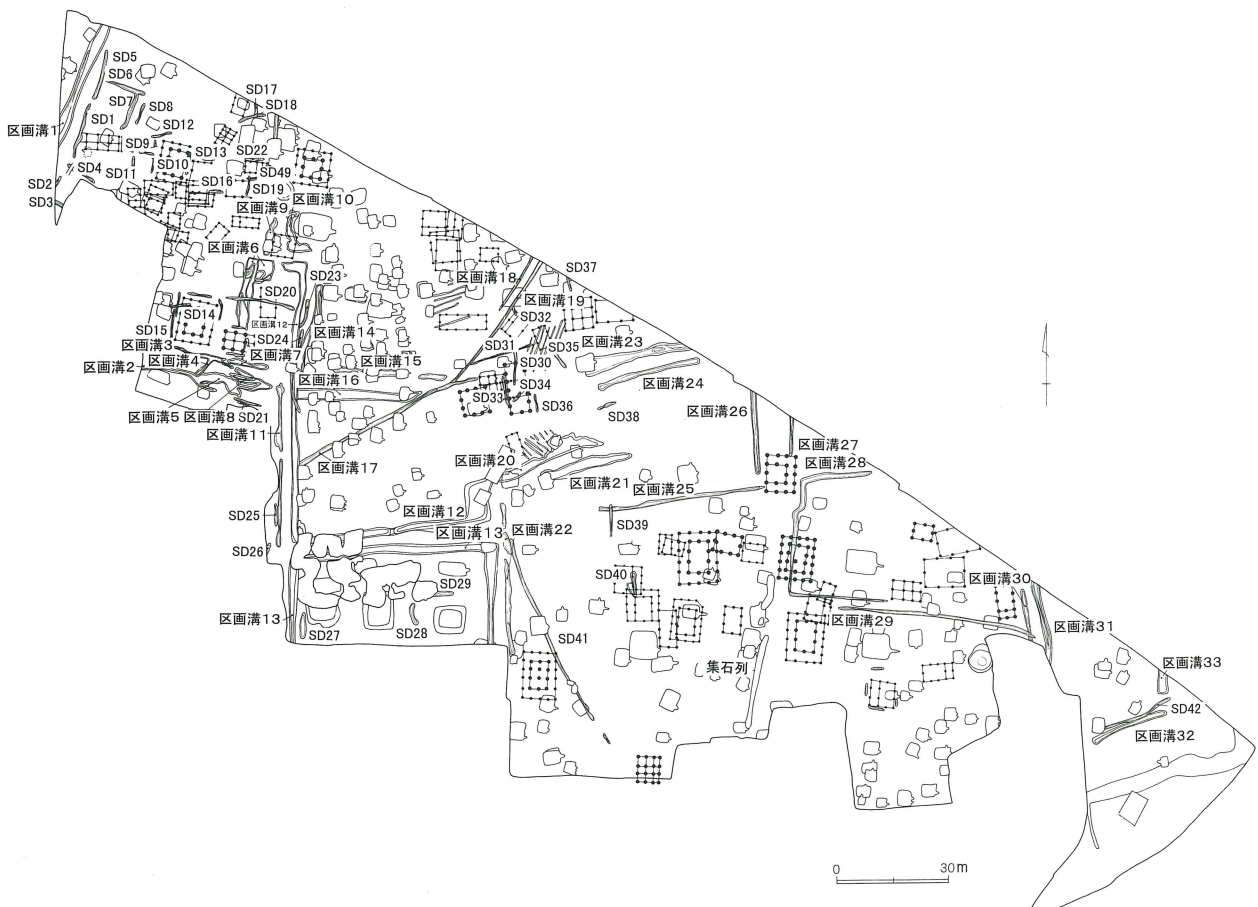
また集石列は、拳大の石を列状に配石した遺構で1条確認した。

このうち通水を確認したのは、第1号区画溝と第2～5・7・8号区画溝である。とくに第1号区画溝は、浅間山B軽石層の降下段階まで、窪地として残る基幹水路であった可能性が高い。

第12・13号区画溝からは、比較的多くの土器が出土し、特に第13号区画溝からは、油煙の付着した土器とともに多量の瓦が出土したが、他の区画溝の遺物出土量は少なかった。

区画溝が、どのような遺構を区画したかは、各遺構の分析を経てから具体的に述べることにしたい。

第607図 区画溝・溝・集石列全体図



第456表 区画溝一覧表(1)

番号	種類	グリッド	全長(m)	幅(m)	深さ(m)	南北方向	東西方向	重複古	重複新
1	区画溝	B-2/C-1/C-2/D-1/D-2/E-1	33	2.8	0.56	N-23°-E		SJ1	SK3
2	区画溝	K-3/K-4/K-5/L-5/L-6	33	1	0.1		N-107°-E		SJ44/SJ45
3	区画溝	K-4/K-5/K-6	23.4	0.9	0.2		N-71°-E		
4	区画溝	K-5	6	0.8	0.3	N-46°-E			
5	区画溝	K-5/K-6/K-7/L-5/L-6/L-7	20.2	3.2	0.2		N-96°-E		区画溝8
6	区画溝	H-6/H-7/I-6/I-7/J-6	19.6	3	0.16	N-8°-E			SJ42/SB2/SD20
7	区画溝	K-6/K-7	11.2	1.8	0.11		N-102°-E		
8	区画溝	K-6	7.6	0.8	0.29		N-99°-E	区画溝5	
9	区画溝	G-7/H-6/H-7	10.3	2.4	0.05	N-16°-E			SJ40/SJ41
10	区画溝	G-7/H-7/H-8	14.8	1.7	0.14	N-2°-W			
11	区画溝	K-7/L-7/M-7/N-7/O-7/P-7	46	1.2	0.62	N-0°-E			
12	区画溝	H-7/H-8/I-7/I-8/J-7/J-8/K-7/L-7/M-7/N-7/N-12/N-13/O-7/O-8/O-9/O-10/O-11/O-12/O-13/P-7/P-8/P-9	160	2	0.31	N-0°-E	N-79°-E		SJ83/SJ125/SJ126/SJ127/区画溝14
13	区画溝	O-12/O-13/P-7/P-8/P-9/P-10/P-11/P-12/P-13/Q-7/Q-8/Q-13/R-7/R-13	78	2.8	0.34	N-0°-E	N-81°-E		SK200/SK373
14	区画溝	I-8/J-8/K-7/K-8	27.3	2.7	0.23	N-13°-E		区画溝12	SJ79/SJ81/SJ84
15	区画溝	K-8/K-9/K-10/K-11	32	1.5	0.23		N-93°-E		SJ86/SJ87/SJ104/SJ105/SJ107/SJ108/SJ109/SK273/SK293
16	区画溝	L-7/L-8/L-9/L-10/L-11	34.1	3	0.26		N-90°-E		SJ110/SJ111/SJ113
17	区画溝	K-11/K-12/L-9/L-10/L-11/L-12/M-8/M-9/M-10/N-8	53.5	1	0.16		N-61°-E		SJ117-122/SJ125
18	区画溝	H-13/H-14/I-13/I-14/J-12/J-13/K-11/K-12	39.3	0.4	0.1	N-31°-E			
19	区画溝	H-14/I-13/I-14/J-12/J-13/K-12	39.7	0.6	0.14	N-35°-E		SJ152	SJ156
20	区画溝	M-13/M-14/M-15/M-16/N-12/N-13/N-14	34.7	3.3	0.22		N-71°-E	SJ166/SK481	SJ164/SJ165/SJ168
21	区画溝	M-14/M-15/M-16/N-14/N-15	23.8	3	0.22		N-74°-E		SJ167/SK473/SK480/SK491/SK534
22	区画溝	O-13/P-13/Q-13/R-13	32.2	1.6	0.26	N-5°-W			SJ175/SJ177
23	区画溝	J-17/J-18/K-15/K-16/K-17	32.8	4.2	0.19		N-77°-E		SJ162/SK514/SK549
24	区画溝	K-15/K-16/K-17/L-16	28	1.3	0.22		N-74°-E		
25	区画溝	N-17/N-18/N-19/N-20/O-16/O-17	44.6	1.3	0.07		N-81°-E		
26	区画溝	K-20/L-20/N-20	22.4	1.2	1.04	N-5°-W			
27	区画溝	L-21/M-21	12.8	2.7	0.7	N-5°-W			
28	区画溝	N-21/N-22/N-23/O-21/P-21/Q-21/Q-22/Q-23	71	1.6	0.62	N-6°-E	N-81°-E N-86°-E	SJ215/SJ219/SB55/SB56/SB57/SK648	
29	区画溝	Q-22/Q-23/Q-24/Q-25/Q-26/Q-27/R-26/R-27	53.4	1	0.08		N-95°-E	SJ238/SJ239/SJ241/SK686/区画溝30	
30	区画溝	P-27/Q-27/R-27	14.2	1.2	0.35	N-10°-W			区画溝29

第 457 表 区画溝一覧表 (2)

番号	種類	グ リ ッ ド	全長 (m)	幅 (m)	深さ (m)	南北方向	東西方向	重複古	重複新
31	区画溝	P-27/Q-27/Q-28/R-27 /R-28	22.6	1.8	0.23	N-10°-W			
32	区画溝	T-29/T-30/T-31/U-29	21.2	1.5	0.08		N-65°-E		
33	区画溝	R-30/S-30/S-31	7.5	2.1	0.02	N-0°-E			
1	溝	D-2/E-1/E-2	14.3	0.9	0.41	E			
2	溝	F-1		0.9	0.56	E			
3	溝	G-1		0.7	0.41	W			
4	溝	F-1/F-2	8.2	0.7	0.24	W			
5	溝	C-2/D-2		0.1	0.17	E			
6	溝	C-2/D-2/D-3	11.5	1.1	0.19	W			
7	溝	D-3/E-3	10.3	0.9	0.74	E			
8	溝	D-3/E-3	5.8	0.4	0.12	E			
9	溝	E-3/E-4	5	0.6	0.16	W			
10	溝	E-3/E-4/F-3	9.4	0.4	0.09	E			
11	溝	F-3		0.4	0.1	E			
12	溝	E-3/E-4	5.5	0.2	0.05	E			
13	溝	E-4/F-5		0.6	0.1	E			
14	溝	I-4/I-5		0.6	0.12	W			
15	溝	J-4		0.3	0.1	E			
16	溝	G-5		0.3	0.08	W			
17	溝	D-6		0.2	0.15	E			
18	溝	D-6/E-6		0.5	0.14	E			
19	溝	F-6		0.6	0.08	E			
20	溝	I-5/I-6/I-7		0.6	0.24	W			
21	溝	L-6		0.5	0.15	W			
22	溝	D-7/E-7		0.8	0.36	E			
23	溝	I-8/J-8		0.6	0.22	E			
24	溝	J-7/J-8	5.8	0.8	0.37	E			
25	溝	O-7	6.6	0.8	0.39	W			
26	溝	P-7	2.5	0.7	0.4	E			
27	溝	Q-8/R-8/R-9	7.9	1.3	0.07	E			
28	溝	Q-11/R-11	6.5	1.2	0.29	W			
29	溝	Q-11/Q-12		0.1	0.1	E			
30	溝	J-13/K-13	9.9	0.2	0.44	E			
31	溝	K-12/K-13/J-13/J-14	18.6	0.4	0.59	E			
32	溝	I-13/J-13		0.2	0.06	W			
33	溝	L-13		0.2	0.06	E			
34	溝	L-13	8.6	0.3	0.03	W			
35	溝	J-14/K-14/K-15	6.9	0.5	0.05	W			
36	溝	L-14	5	0.3	0.05	W			
37	溝	I-15		0.5	0.14	W			
38	溝	L-15/L-16	5.4	0.4	0.08	E			
39	溝	N-16/O-16		0.5	0.18	W			
40	溝	P-16/P-17/Q-16/Q-17	0.67	1.8	0.17	W			
41	溝	P-13/Q-14/R-14/S-14 /S-15/T-15/T-16/U- 16	6.3	0.4	0.28	W			
42	溝	S-30/S-31/T-29/T-30		0.2	0.07	E			

第 1 号区画溝 (第608図)

B-2、C・D-1・2、E-1 グリッドに確認した。

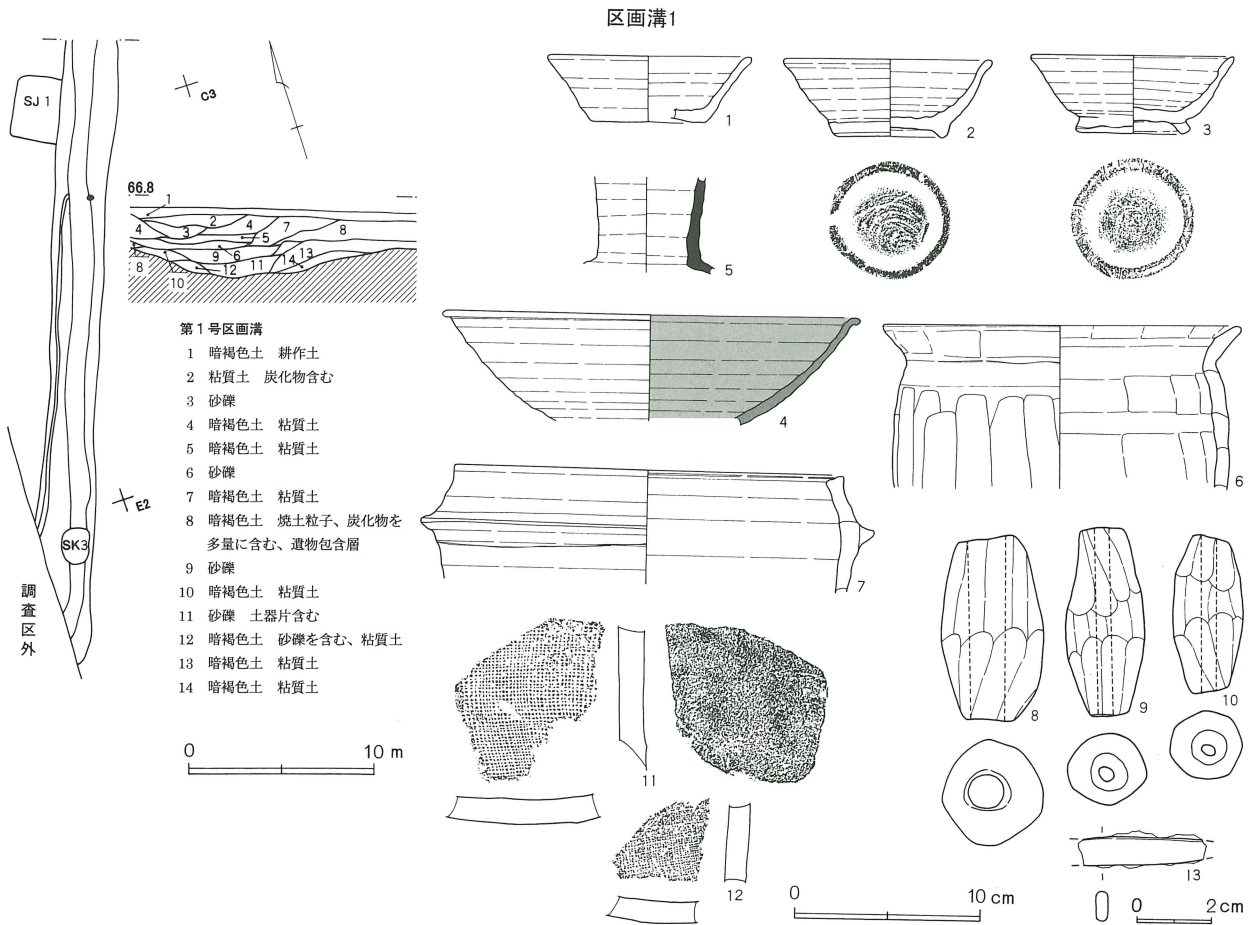
調査区の西端に位置し、N-23°-Eと南北に走行

していた。長さ33m (検出分)・幅2.8m・深さ0.56mと、幅広くやや深い区画溝であった。

東側に隣接した第1・2・5号溝と併行していた。

この間の遺構は、疎らであったので一対と推定した。

第608図 第1号区画溝・出土遺物



焼土・炭化物・遺物を多量に含む第8層が埋まった後、再掘削していたものと判断した。また溝底に砂利層が形成されていたことから通水していたものと判断した。

遺構の切り合い関係は、第3号土壌より古く、第1号住居跡よりも新しかった。

1は、須恵器(HS)の椀である。2・3は、須恵器(HS)の高台付椀である。1は底部が欠損してい

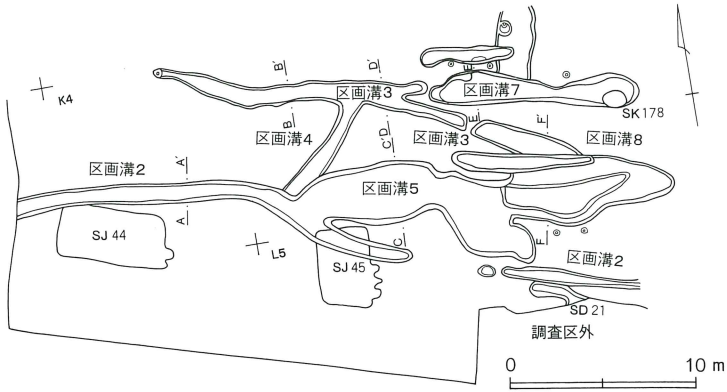
第458表 第1号区画溝出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鏑	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	椀	HS	10.6	3.5		6.0	B, E, I	普通		にぶい黄橙	30	C-2
2	高台付椀	HS	11.0	4.1		5.4	B, C, E, G	良好		浅黄灰	80	
3	高台付椀	HS	10.7	4.1		5.3	B, E, G	良好		灰	75	
4	高台付椀	K	21.8				B, D	良好		灰白	5	C-2
5	長頸壺	S					B	良好		黄灰	5	D-1
6	土師甕C	H	18.8				B, E, H	普通		橙	20	
7	羽A II b イ	HS	20.8		3.1		B, E	普通		浅黄橙	15	

第459表 第1号区画溝出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
8	にぶい赤褐	80	4.9	2.7	0.9	38.3	B 1	V a	70	
9	橙	100	5.0	2.1	0.4	16.8	B 1	I a	71	
10	橙	100	4.2	1.9	0.4	12.6	B 1	I a	72	

第609図 第2・3・4・5・7・8号区画溝・出土遺物



第2号区画溝 A-A'

- 1 暗褐色土 砂利を多量に含む
- 2 砂層+砂利
- 3 暗褐色土 砂利を微量含む
- 4 暗褐色土 砂利を少量含む

第3号区画溝 B-B'

- 1 褐色土 炭化粒子を微量含み、B 軽石を多量に含む

D-D'

- 1 褐色土 炭化粒子を微量含み、B 軽石を多量に含む
- 2 褐色土 白色粒子を少量含む

第5号区画溝 C-C'

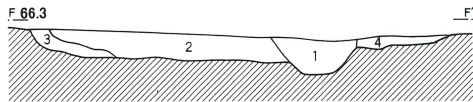
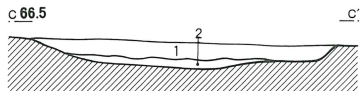
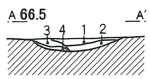
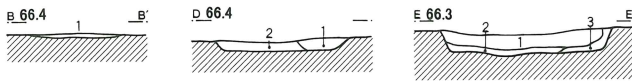
- 1 暗褐色土 焼土粒子、炭化粒子を多量に含む
- 2 黒褐色土 焼土粒子、炭化粒子を少量含む

第7号区画溝 E-E'

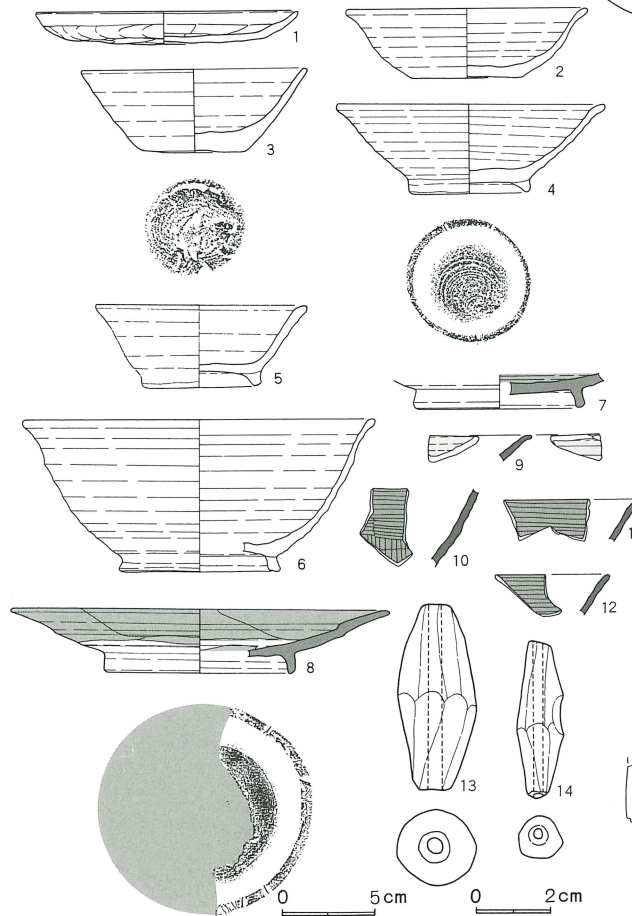
- 1 褐色土 炭化粒子を含む
- 2 褐色土 炭化粒子、小石を含む
- 3 褐色土 炭化粒子を微量含む

第8号区画溝 F-F'

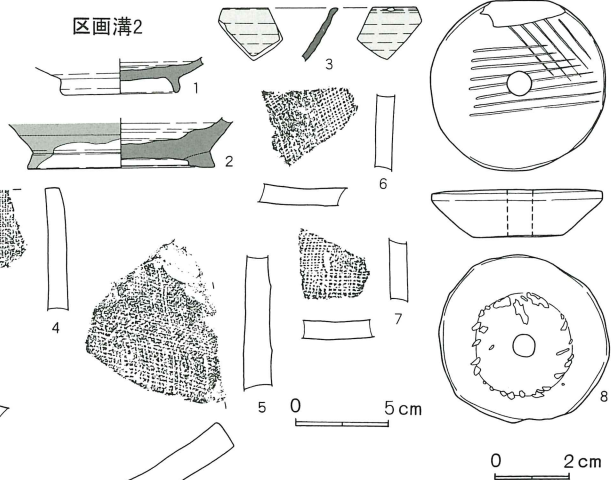
- 1 暗褐色土 焼土粒子、炭化粒子を少量含む
- 2 第5号区画溝第1層
- 3 第5号区画溝第2層
- 4 第3号区画溝第1層



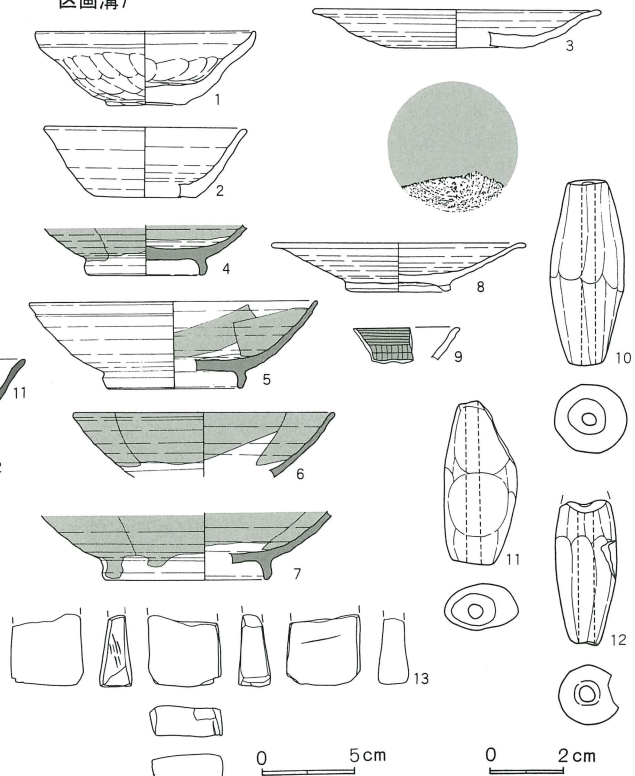
区画溝5



区画溝2



区画溝7



第460表 第2号区画溝出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鏝	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付皿	K				6.0	B	良好		灰白	25	被熱痕
2	長頸壺	K				9.9	D	良好		灰白	30	
3	高台付椀	M					B	普通				

第461表 第4号区画溝出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鏝	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	皿	H	15.7	1.7		9.0	B, E, H	普通		黄褐	60	
2	椀	HS	12.7	3.7		5.9	B, E, I	良好		浅黄	50	
3	椀	NS	11.9	4.4		5.3	B, E, I	普通		黄灰	60	
4	高台付椀	NS	14.2	4.7		6.0	B, E, I	良好		灰白	50	
5	高台付椀	HS	11.1	4.3		5.7	B, E, G	普通		にぶい橙	75	
6	高台付椀	NS	18.5	8.0		8.2	B, E	普通		灰白	20	
7	高台付皿	K				8.5	B, D	良好		外-灰白。 内-オリーブ灰	25	
8	段皿	K	19.9	3.4		9.6	D	良好		淡灰褐	30	
9	高台付椀	M					B	普通		黄緑	5	
10	高台付椀	M					B, E	普通		外-にぶい黄橙。 内-褐灰	5	
11	高台付椀	M					B, C, I	普通		外-橙。内-黒褐	5	
12	高台付椀	M					B, C, I	普通		外-橙。内-黒褐	5	

第462表 第6号区画溝出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鏝	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	椀	HS	9.5	3.0		4.7	B, E, I	普通		橙	40	三足盤か？
2	椀	NS	11.1	3.8		4.9	B, E, G	良好		黄灰	25	
3	椀	HS	12.1	4.9		5.4	B, C, E	普通		にぶい黄橙	80	
4	椀	HS	10.3	3.9		5.3	B, E, G, I	良好		褐灰	100	
5	高台付椀	HS	11.8	4.8		5.5	B, E, G	良好		浅黄	50	
6	高台付椀	HS				7.7	B, E, G	良好		にぶい黄橙	20	
7	高台付椀	K				6.6	B	良好		灰白	20	
8	高台付椀	K				6.2	B, D	良好		灰白	20	
9	高台付椀	K	15.7				B	良好		灰白	10	
10	段皿	K	19.7	3.0			B	普通		灰(黄味)		
11	短頸壺	K	11.1				D	良好		灰	5	
12	羽釜BⅡb	HS	18.9		2.8		B, C, E, H	良好		浅黄橙	10	
13	羽釜BⅡaイ	HS	22.0		2.0		B, C, E, H	普通		灰白	10	

第463表 第7号区画溝出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鏝	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏	B	11.6	4.0		4.1	B, D, E	普通		黄土	40	被熱痕
2	椀	NS	10.7	3.7		5.4	B, E	良好		灰黄	30	
3	皿	HS	15.2	2.0		7.4	B, I	良好		灰黄	30	
4	高台付椀	K				5.9	B, D	良好		灰白	50	
5	高台付椀	K	15.3	4.6		7.1	B	良好		灰白	40	
6	高台付椀	K	13.9				B, D	良好		灰白	30	
7	高台付椀	K				8.7	B, D	良好		灰白	20	
8	高台付皿	NS	13.4	2.6		5.0	B, E	良好		黄灰	60	
9	高台付椀	黒色	5.9				B, C	良好		外-橙。内-黒褐	5	

第 464 表 第 1 号区画溝出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
11	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
12	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-

第 465 表 第 2 号区画溝出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
4	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2 面面取り
5	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
6	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
7	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-

る。

4 は、灰釉陶器の高台付椀である。底部が欠損している。

5 は、須恵器 (S) の長頸壺である。6 は、土師器の甕である。7 は、須恵器 (HS) の羽釜である。5 は頸部のみである。6・7 は胴部中位以下が欠損している。

8 から 10 は、土錘である。

11・12 は、平瓦である。

13 は、鉄製品の刀子茎部である。

第 2 号区画溝 (第 609 図)

K-3・4・5、L-5・6 グリッドに確認した。

第 1 号掘立柱建物跡の梁行、第 2 号掘立柱建物跡の桁行と、第 2 号区画溝から第 5・7・8 号区画溝は、ほぼ併行し、第 1・2 号掘立柱建物跡の付属遺構と判断した。

第 2 号区画溝の溝底には、通水によって砂利層が形

成されていた。走行方向や傾斜等から、第 2 号区画溝は、第 5・7・8 号区画溝 (池) へ配水した導水路であったと推定した。

第 2 号区画溝は、区画溝であるとともに池状の景観を構成した区画溝群の最南に位置した。東西方向 (N-107°-E) にやや蛇行しながら延びていた。確認面のレベルが低く、途切れながら走行していたが、長さは 33m・幅 1m・深さ 0.10m を検出し、狭く浅かった。

溝内を東に向かって緩やかに流れた水は、第 3 号～5・7・8 号区画溝に分水後、第 11 号区画溝へ流れていったと推定した。

遺構の切り合い関係は、第 44・45 号住居跡より古かった。

1 は、灰釉陶器の高台付皿である。底部のみである。

2 は、灰釉陶器の長頸壺である。底部のみである。

3 は、緑釉陶器の高台付椀である。口縁部破片である。

4 から 7 は、平瓦である。

8 は、石製の紡錘車である。

第 3 号区画溝 (第 609 図)

K-4・5・6 グリッドに確認した。

第 2 号区画溝と同様、第 1・2 号掘立柱建物跡に付属した池を構成する溝と判断した。第 1 号掘立柱建物跡の南西隅から東 (N-71°-E) 方向へ延び、東端で二又に分かれて第 5 号区画溝と合流していた。長さ 23.4m・幅 0.9m・深さ 0.2m と狭く浅かった。

第 2 号区画溝と、第 4 号区画溝によって結ばれ、東

第 466 表 第 4 号区画溝出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ (g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
13	にぶい橙	100	5.0	2.1	0.5	18.2	B 1	I a	73	
14	淡黄	100	4.2	1.2	0.2	5.3	C 2	I a	550	

第 467 表 第 7 号区画溝出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ (g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
10	橙	100	4.5	1.9	0.4	15.0	C 1	I a	205	
11	にぶ橙	80	4.4	2.0	0.4	9.3	C 1	V a	206	
12	灰褐	70		1.6	0.4	8.8	C 1	III a	207	

に向かって緩やかに傾斜して流れていたと判断した。
遺構の切り合い関係はみられなかった。

第4号区画溝（第609図）

K-5グリッドに確認した。

前記同様、第1・2号掘立柱建物跡に付属した池を構成する溝であった。第2号区画溝と第3号区画溝を結び南北方向（N-46°-E）に延びていた。第3号区画溝に向かって緩やかに傾斜していた。長さ6m・幅0.8m・深さ0.3mと狭く浅かった。

第5号区画溝（第609図）

K・L-5・6・7グリッドに確認した。

前記同様、第1・2号掘立柱建物跡に付属した池を構成した溝のほぼ中央に位置し、東西方向（N-96°-E）に延びていた。形状は不整形で長さ20.2m・幅3.2m・深さ0.2mを測り、深さに比べて幅が広く、池

の主要部と推定した。

西端で第2号区画溝と結ばれ、溝の東側の底面は、一段低く掘り込まれていた。溝内を流れた水は、東端から第11号区画溝へと流れていたと推定した。

溝の北側が、第8号区画溝に壊されていた。

1は、土師器の皿である。

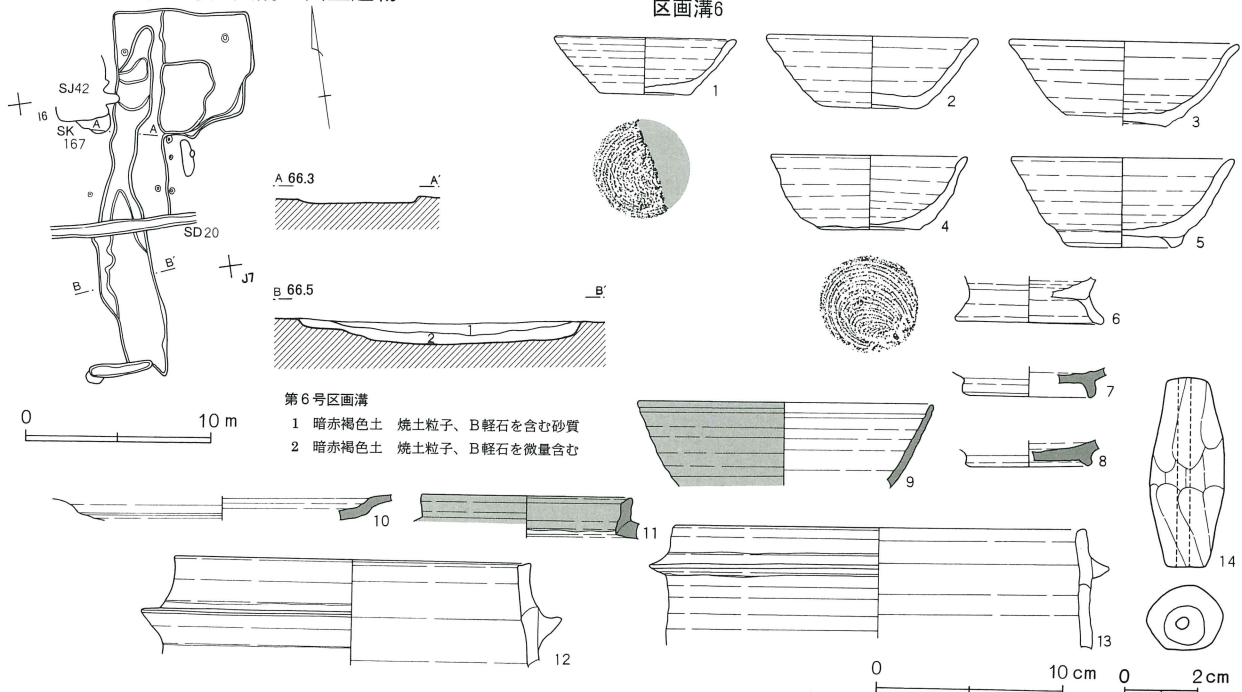
2は、須恵器（HS）の椀である。3は、須恵器（NS）の椀である。4・6は、須恵器（NS）の高台付椀である。5は、須恵器（HS）の高台付椀である。6は底部が欠損している。

7は、灰釉陶器の高台付皿である。8は、灰釉陶器の段皿である。7は底部のみである。8は底部が欠損している。

9は、緑釉陶器の高台付椀である。口縁部破片である。

10から12は、黒色土器の高台付椀である。10は体部破片である。11・12は口縁部破片である。

第610図 第6号区画溝・出土遺物



第6号区画溝
1 暗赤褐色土 焼土粒子、B軽石を含む砂質
2 暗赤褐色土 焼土粒子、B軽石を微量含む

第468表 第6号区画溝出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
14	橙	100	5.0	2.1	0.3	16.4	C 1	I a	208	

13・14は、土錘である。

第6号区画溝（第610図）

H・I-6・7、J-6グリッドに確認した。

第2号掘立柱建物跡の雨落溝と南端が重複していた。北（N-8°-E）方向へ延び、L字状に北端で曲がっていた。長さ19.6m・幅3m・深さ0.16mを測り、幅広く浅かった。

第12号区画溝とほぼ平行していた。第12号区画溝の北端は、向かい合うようにL字状に曲がっていたため、

区画を構成していたものと判断した。

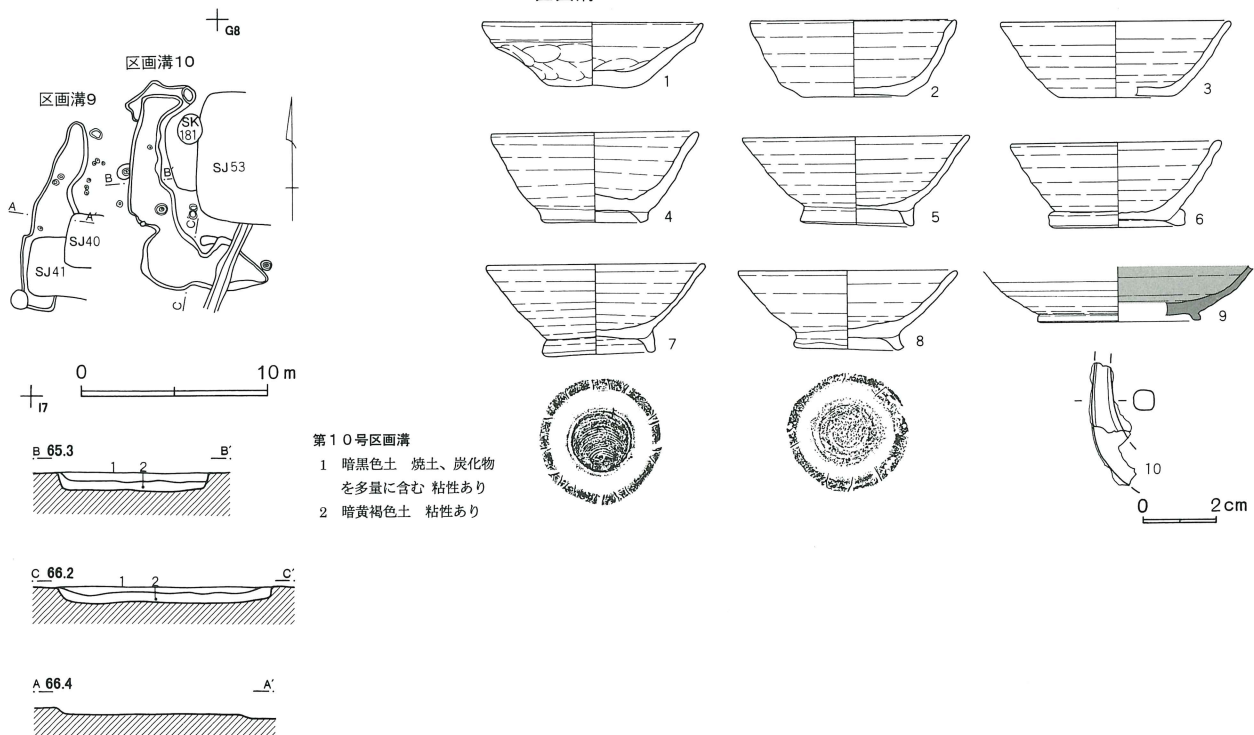
形状は不整形で北端のL字部分に浅い掘り込みがあった。

遺構の切り合い関係は、第42号住居跡・第2号掘立柱建物跡・第20号溝より古かった。

1・3・4は、須恵器（HS）の椀である。2は、須恵器（NS）の椀である。5・6は、須恵器（HS）の高台付椀である。6は底部のみである。

7から9は、灰釉陶器の高台付椀である。7・8は底部のみである。9は底部が欠損している。

第611図 第9・10号区画溝・出土遺物



第10号区画溝
1 暗黒色土 焼土、炭化物を多量に含む 粘性あり
2 暗黄褐色土 粘性あり

第469表 第10号区画溝出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鏝	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏	B	H	11.6	3.5	4.1	B, D, E, H	普通		黄 橙	90	H-7
2	椀	HS	10.9	4.1	5.1	B, E, G	普通		にぶい黄	40		
3	椀	HS	12.2	4.0	6.0	B, E, G, I	良好		灰 黄	25		
4	高台付椀	HS	11.0	4.8	5.0	B, E, G	良好		灰 黄	95		
5	高台付椀	NS	12.0	4.8	5.7	B, E, I	良好		褐 灰	50		
6	高台付椀	HS	11.1	4.5	6.8	B, E, G	良好		灰 黄	30		
7	高台付椀	HS	11.5	4.9	5.6	B, E, I	良好		褐 灰	90		
8	高台付椀	HS	11.6	4.1	5.3	B, E, G	良好		褐 灰	60		
9	高台付椀	K			8.3	B, D	良好		外-灰白。 内-オリーブ灰	10		

10は、灰釉陶器の段皿である。11は、灰釉陶器の短頸壺である。10は体部のみ、11は口縁部のみである。

12・13は、須恵器（HS）の羽釜である。12は胴部上位以下、13は胴部中位以下が欠損している。

14は、土錘である。

第7号区画溝（第609図）

K-6・7グリッドに確認した。

前記同様、第1・2号掘立柱建物跡に付属した池を構成する溝であった。第3号区画溝の東端から東（N-102°-E）方向へ延びていた。長さ11.2m・幅1.8m・深さ0.11mを測り狭く浅かった。

1は、土師器の坏Bである。

2は、須恵器（NS）の椀である。3は、須恵器（HS）の皿である。8は、高台付皿である。2・3は底部が欠損している。

4から7は、灰釉陶器の高台付椀である。9は、黒色土器の高台付椀である。4は口縁部、5・6は底部、7は口縁部と底部が欠損している。9は口縁部破片である。

10から12は、土錘である。

13は、砥石である。

第8号区画溝（第609図）

K-6グリッドに確認した。

前記同様、第1・2号掘立柱建物跡に付属した池を構成する溝であった。東西（N-99°-E）に走行し、長さ7.6m・幅0.8m・深さ0.29mを測り短く狭かった。

第5号区画溝よりは、新しかった。

第9号区画溝（第611図）

G-7・6、H-7グリッドに確認した。

第6号区画溝の北側に位置し、北（N-16°-E）に向かって延びていた。長さ10.3m・幅2.4m・深さ0.05mと広く非常に浅かった。

第6・10・12号区画溝とほぼ平行し、これらとともに区画を構成していたものと判断した。

遺構の切り合い関係は、第40・41号住居跡より古かった。

第10号区画溝（第611図）

G-7、H-7・8グリッドに確認した。

第12号区画溝の北側に位置し、北（N-2°-W）に向かって延びていた。形状は不整形で南端はL字状に曲がっていた。長さ14.8m・幅1.7m・深さ0.14mを測りやや広く浅かった。

第6・9・12号区画溝とほぼ平行し、これらとともに区画を構成していたと判断した。

古墳時代の第1号溝より新しかった。また第53号住居跡を避けて走行していたことから、同住居跡は、第6・9・10・12号区画溝による区画に存在したといえよう。

1は、土師器の坏Bである。

2・3は、須恵器（HS）の椀である。4・6から8は、須恵器（HS）の高台付椀である。5は、須恵器（NS）の高台付椀である。3は底部が欠損している。

9は、灰釉陶器の高台付椀である。口縁部と底部が欠損している。

10は、棒状鉄製品である。

第11号区画溝（第612図）

K・L・M・N・O・P-7グリッドに確認した。

やや広い北端部が、第1・2号掘立柱建物跡に付属した池を構成していた。第5号区画溝と接し、南（N-0°-E）に向かって延びていた。

溝は一部途切れるものの、長さ46m・幅1.2m・深さ0.62mと狭く深かった。

第12号区画溝とは、3.5mの距離をおき併走していた。二つの区画溝の間は、道路として機能していたと推定した。

1・2は、土師器の坏AⅣである。2は黒色の付着物が口縁部内面に確認できる。油煙の痕跡と考えられる。

3は、須恵器 (NS) の椀である。4は、須恵器 (NS) の高台付椀である。6は、須恵器 (NS) の皿である。4の底部外面には、「南」と墨書がみられた。4は口縁部、6は底部が欠損している。

7・8は、灰釉陶器の高台付椀である。5は、白磁の高台付椀である。9から11は、緑釉陶器の高台付椀である。5・8は口縁部と底部が欠損している。7・9は底部のみである。10・11は体部破片である。

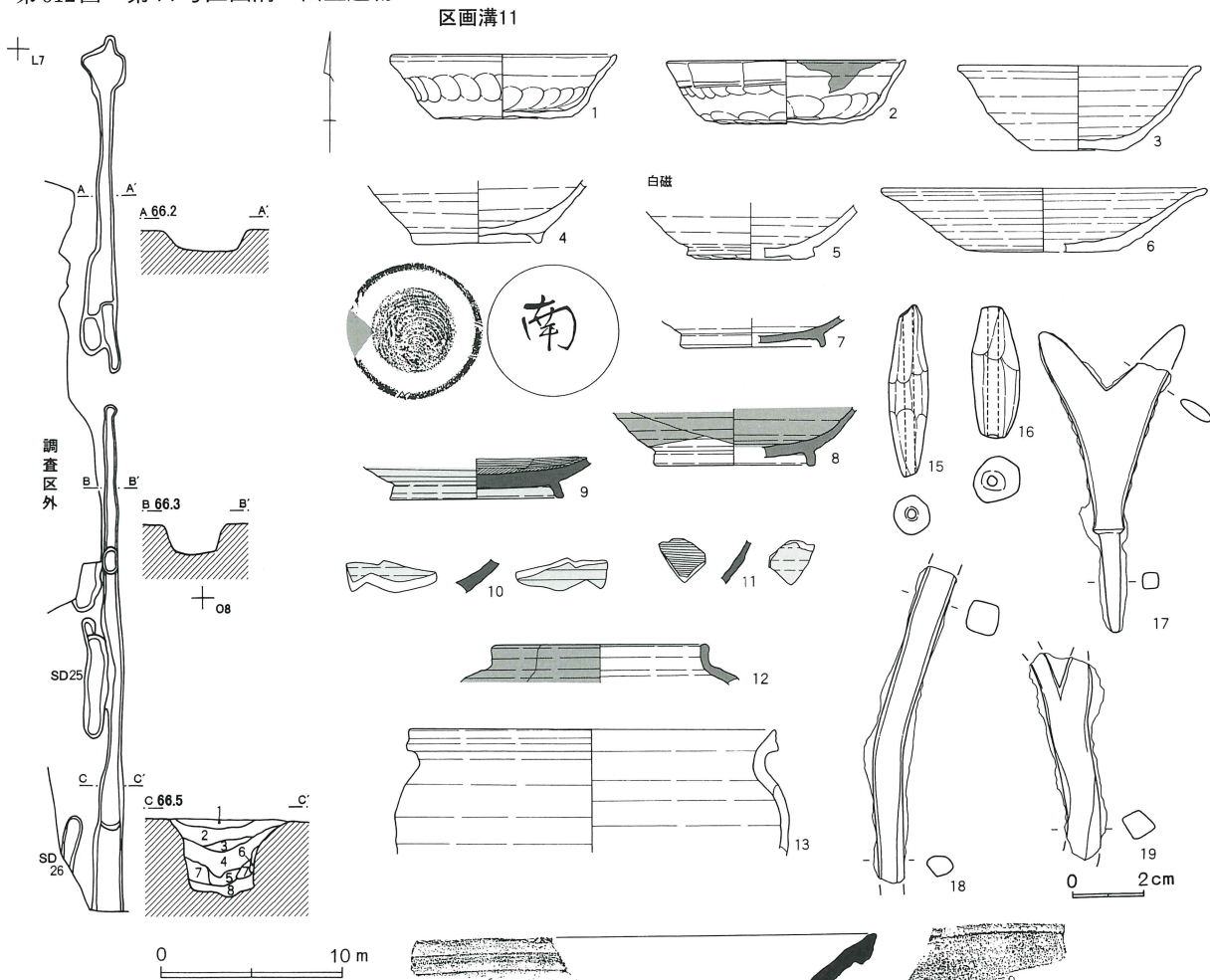
12は、灰釉陶器の短頸壺である。13は、須恵器 (HS) の鉢である。12は口縁部のみである。13は胴部下位以下が欠損している。

14は、須恵器 (S) の大甕である。口縁部破片である。

15・16は、土錘である。

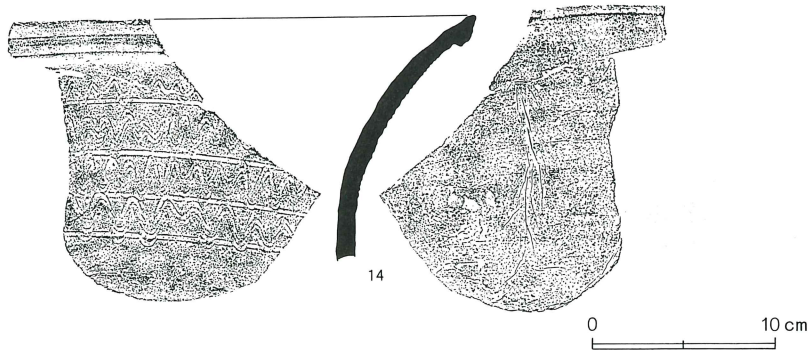
17は、鉄鍬 (雁股鍬) である。18は、棒状鉄製品、19は、二股に分岐する棒状鉄製品である。

第612図 第11号区画溝・出土遺物



第11号区画溝

- 1 黒褐色土 焼土、B軽石を多量に含む
- 2 暗黄褐色土 焼土を少量含む 粘性あり
- 3 暗黄褐色土 焼土を微量含む、白色粒子礫を多量に含む 粘性あり
- 4 暗褐色土 焼土、炭化物を微量含む、白色粒子を少量含む
- 5 暗茶褐色土 粘性あり
- 6 暗黄褐色土 白色粒子を多量に含む
- 7 暗褐色土 焼土を少量含む、白色粒子を微量含む 粘性あり
- 8 暗黄褐色土 礫、白色粒子を少量含む



第470表 第11号区画溝出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鏝	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A IV	H	12.2	3.5		7.3	B, E, H	普通		黄 橙	50	M-7-1
2	坏 A IV	H	12.9	3.4		6.7	B, D, H	良好		橙	70	M-7
3	椀	NS	13.0	4.6		4.8	B, E	普通		灰 白	60	M-7-3
4	高台付椀	NS				6.8	B, E, H	良好		灰 白	100	墨書
5	高台付椀	白磁						普通				
6	皿	NS	17.5	3.5		8.3	B, C, I	良好		灰 白	25	
7	高台付椀	K				7.5	B, D	良好		灰 白	20	L-7-2
8	高台付椀	K				8.6	B, D	良好		外-灰白。 内-オリーブ灰	40	L-7-2, M-7-1 被熱痕
9	高台付椀	M					B	普通		黄 緑	5	
10	高台付椀	M					B	普通		淡 緑	5	
11	高台付椀	M					B	普通		淡 緑	5	
12	短頸壺	K	11.4				B, D	良好		外-オリーブ灰。内-灰白	10	L-7-2
13	鉢	HS	20.0				B, C, G	普通		橙	10	O-7
14	大甕	S					B, G	普通				

第471表 第11号区画溝出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
15	明 褐	100	4.6	1.1	0.2	4.4	C 2	I b	551	
16	橙	100	3.6	1.3	0.3	5.8	C 2	I a	552	

第12号区画溝 (第613図)

H・I・J-7・8、K・L・M-7、N-7・12・13、O-7・8・9・10・11・12・13、P-7・8・9グリッドに確認した。

第12号区画溝は、第13号区画溝の北側を区画した大規模な区画溝であった。南北方向(N-0°-E)に長さ73m延び、東西方向(N-79°-E)へ長さ87m延びていた。場所によって広狭がみられたが、幅2m前後、深さ0.31m前後と、広く深かった。L字形に走行し、北端は西側に東端は北側に短く曲がっていた。

南北部は、第6・11号区画溝と東西部は、第13号区画溝と4~7.5mの距離をもって併行していた。これらの区画と第12号区画溝との間は、道路として機能していたと推定した。

遺構の切り合い関係は、第83・125・126・127号住居跡・第14号区画溝よりも古かった。

そのほか溝の埋没過程で窪みを利用した小鍛冶が行われており、三基の鍛冶炉を検出した。

また覆土の状況から通水の可能性はうすく、土壌の

科学分析(附編参照)の結果からも同様であった。

1から23は、土師器の坏である。1・2・4・17から19は、坏AⅡである。3・5・6・8・10・11は、坏AⅣである。7・9は、坏AⅤである。12から16は、坏Cである。20から23は、坏Bである。24から28は、皿である。10・15・24は底部、16は口縁部が欠損している。5は内面口縁部、6・7・19・23は口縁部、26は口縁部から底部にかけて黒色の付着物が確認できる。油煙の痕跡と考えられる。16は黒色の付着物が底部内面に確認できる。漆の痕跡と考えられる。

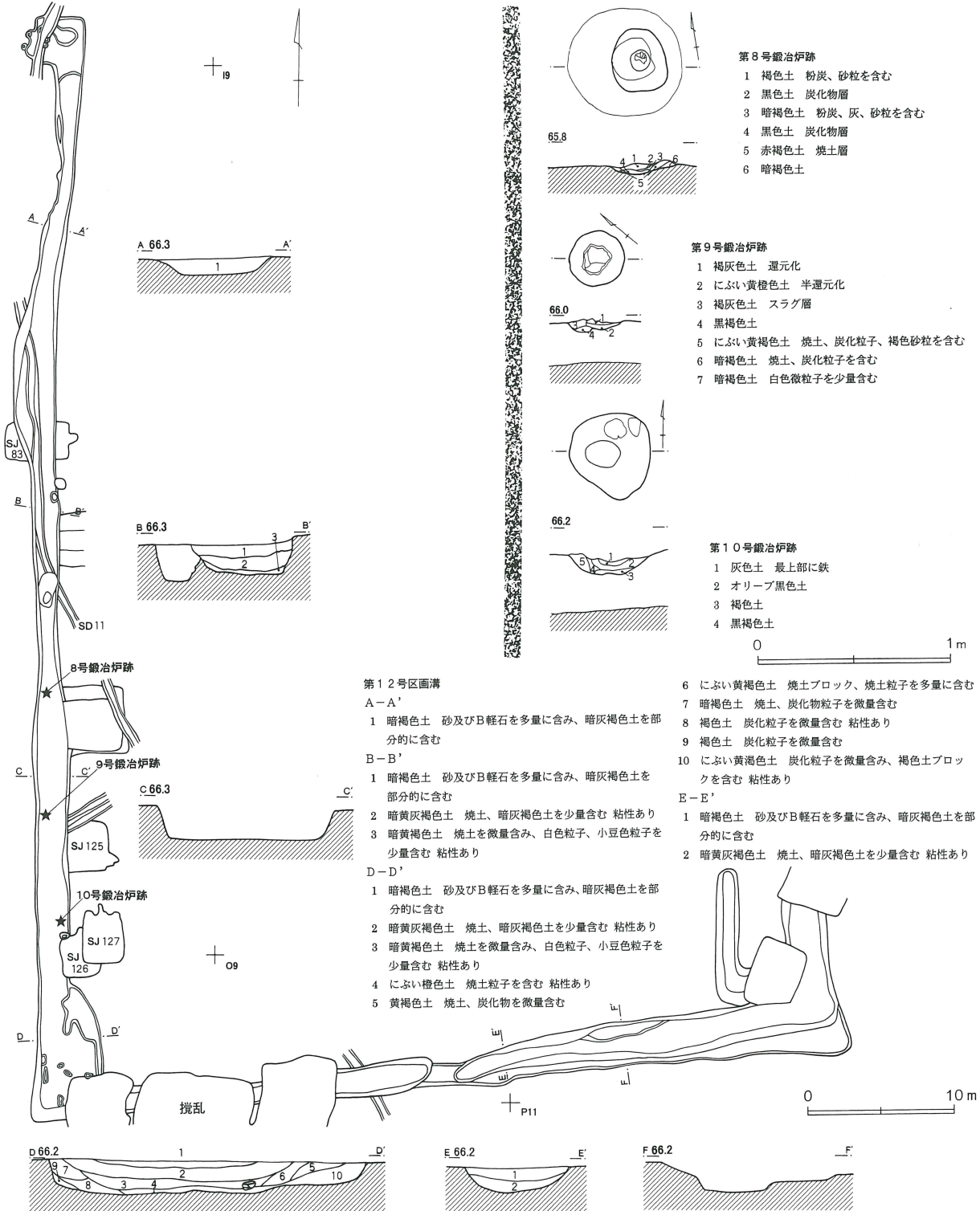
29・30は、須恵器(NS)の椀である。31・33から38は、須恵器(HS)の椀である。32は、須恵器(S)の椀である。39から44・47から49は、須恵器(NS)の高台付椀である。45・46は、須恵器(HS)の高台付椀である。50は、須恵器(S)の高台付椀である。51は、須恵器(NS)の高脚高台付椀である。52から54は、須恵器(S)の皿である。55から58は、須恵器(NS)の高台付皿である。48の体部外面には、「玉」と墨書がみられた。33は底部のみである。38は底部、

42・44・49は高台が欠損している。31は朱色の付着物が底部内面に確認できる。38は内面のみ黒色処理が施されている。

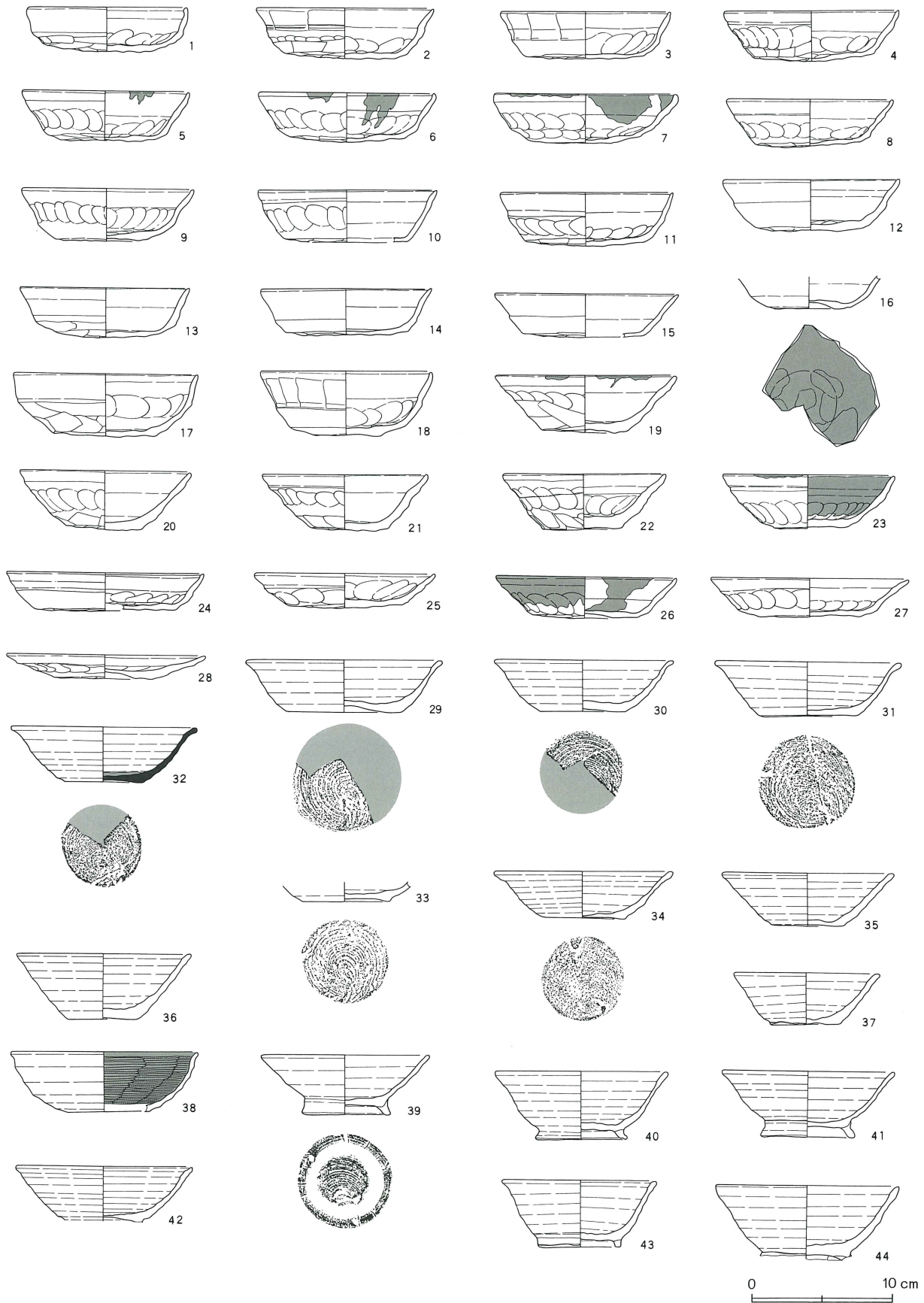
59から66・74は、灰釉陶器の高台付碗である。67・

69・70・72・73は、灰釉陶器の高台付皿である。68は、灰釉陶器の輪花付高台付皿である。59は口縁部と底部、60は底部、61・62は口縁部、68は底部が欠損している。63から67・69・70・72・73・74は底部のみである。

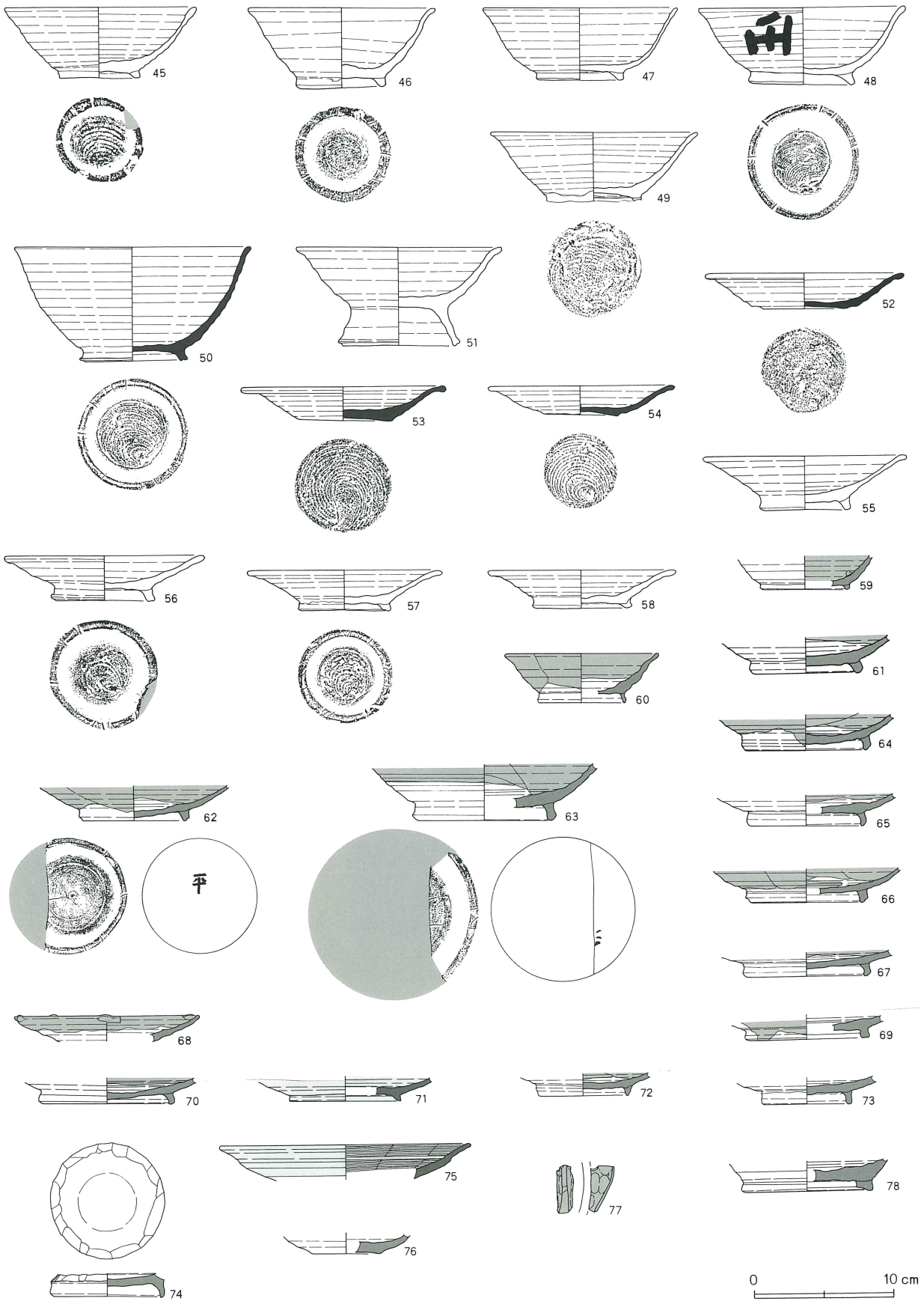
第613図 第12号区画溝



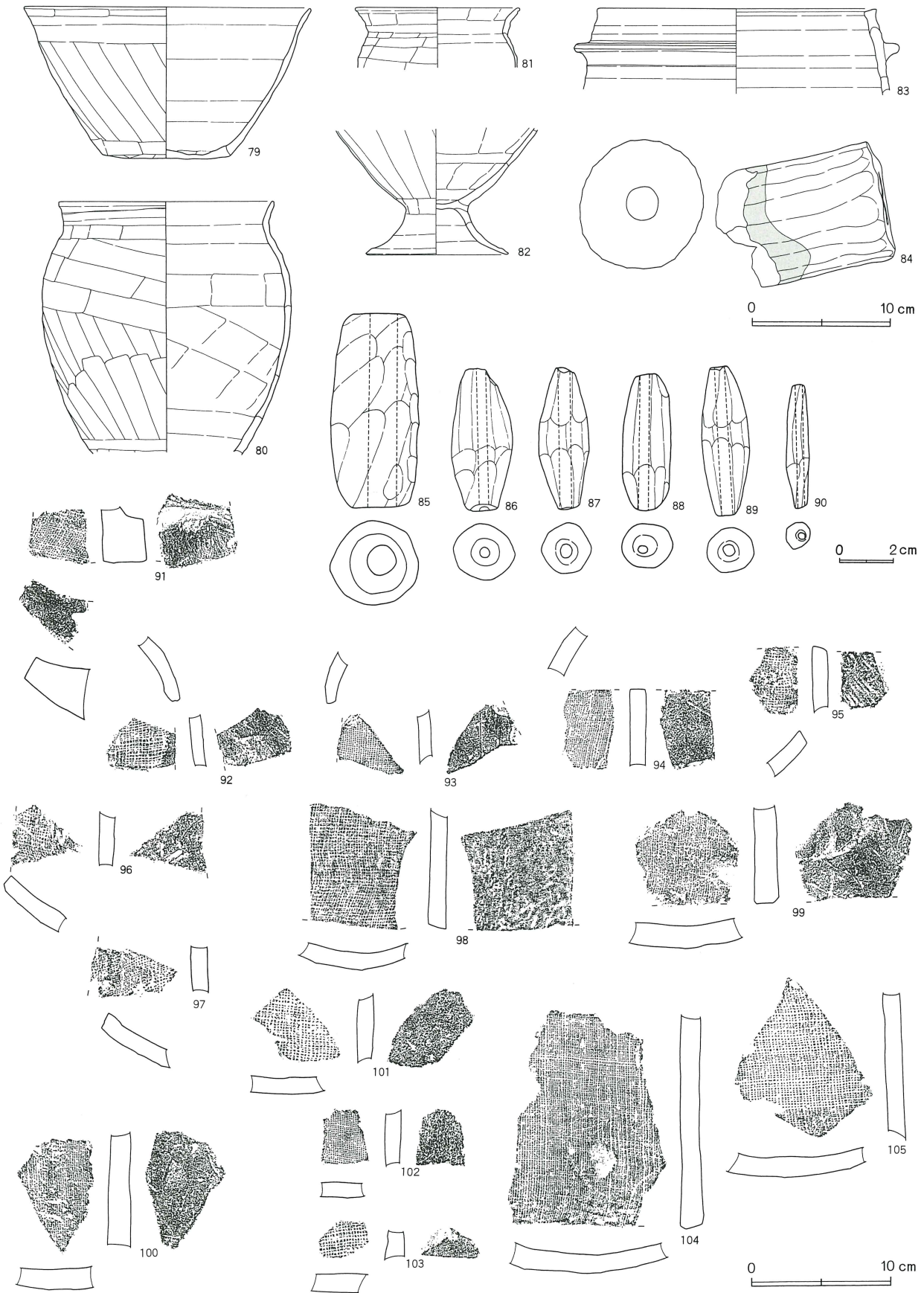
第614图 第12号区画满出土遗物(1)



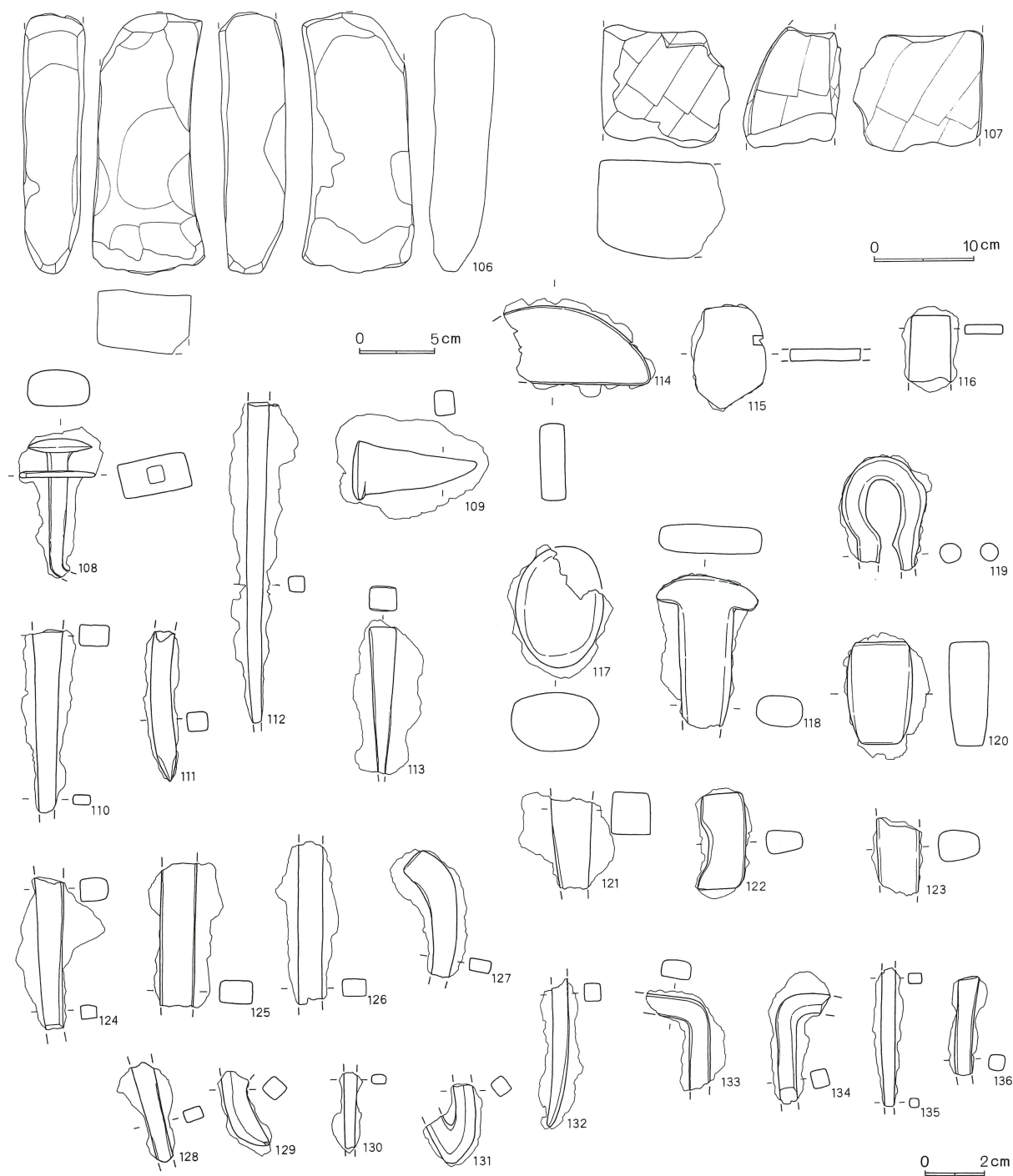
第615图 第12号区画沟出土遗物(2)



第616图 第12号区画清出土遗物(3)



第617図 第12号区画溝出土遺物（4）



71は、緑釉陶器の高台付皿である。75は、緑釉陶器の段皿である。76は、灰釉陶器の耳皿である。62の底部外面には、「平」と墨書がみられた。63の底部外面にも、「□」と墨書されている。71は口縁部と底部、75は底部、76は耳と底部が欠損している。

77は、灰釉陶器の四耳壺である。78は、灰釉陶器の長頸壺である。77は耳のみ、78は底部のみである。

79は、土師器の鉢である。80から82は、土師器の甕である。83は、羽釜である。84は、羽口である。80は底部、81・83は胴部中位以下、82は胴部中以上が欠損

第472表 第12号区画溝出土遺物観察表(1)

番号	器種	種別	口径	器高	鏝	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏	A II	H	11.3	3.1		6.3	B, C, E, H	良好	暗橙	60	
2	坏	A II	H	12.4	3.5		6.8	B, E, H	普通	黄橙	80	L-7-2
3	坏	A IV	H	12.0	3.3		8.2	B, E, H	普通	黄橙	70	
4	坏	A II	H	12.3	3.5		8.5	B, C, E, H	普通	黄橙	100	L-7-2
5	坏	A IV	H	11.7	3.5		6.8	B, E, H	普通	橙	100	
6	坏	A IV	H	12.3	3.5		8.0	B, E, H	良好	黄白	50	O-10-3, 4
7	坏	A VI	H	12.7	3.5		4.8	B, E, H	普通	黄橙	70	
8	坏	A IV	H	11.6	3.3		7.1	B, E, H	普通	橙	70	L-7
9	坏	A VI	H	12.0	3.7		6.4	B, E, H	不良	黄白	80	O-11
10	坏	A IV	H	12.6	3.7		7.5	B, E, H	普通	黄橙	30	
11	坏	A IV	H	12.1	3.8		7.3	B, E, H	普通	黄橙	100	
12	坏	C	H	12.3	3.7		4.5	B, E, H	普通	暗黄橙	60	K-7-4
13	坏	C	H	11.9	3.5		4.6	B, E, H	普通	黄橙	70	南西コーナー
14	坏	C	H	11.9	3.2		8.3	B, E, H	普通	黄褐	40	O-9-4
15	坏	C	H	12.9	3.1		8.5	D, E, H	普通	黄橙	40	M-7-4
16	坏	C	H				4.9	B, I	普通	黒褐	20	O-10-3
17	坏	A II	H	13.0	4.4		7.2	B, E, H	普通	黄褐	50	O-7-4
18	坏	A II	H	12.0	4.5		4.7	B, C, E, H	良好	黄褐	80	N-12
19	坏	A II	H	12.7	4.0		6.0	B, C, G	良好	暗黄橙	100	砂
20	坏	B	H	12.0	4.4		5.3	B, C, E, H	普通	黄橙	50	O-11-3
21	坏	B	H	11.6	3.9		5.4	B, E, H	良好	黄橙	80	O-10-4
22	坏	B	H	11.4	3.9		5.6	B, E, H	普通	淡黄橙	40	南西コーナー
23	坏	B	H	12.0	3.8		4.8	B, D, E, H	普通	暗黄褐		砂
24	皿		H	13.8	3.3		9.8	B, E, H	不良	明黄橙	50	N-12
25	皿		H	12.6	2.4		7.9	B, E, H	普通	黄橙	100	L-7-2
26	皿		H	12.8	2.9		7.4	B, E, H	普通	黄褐	60	M-7
27	皿		H	13.8	2.7		7.0	B, E, H	良好	明赤橙	90	
28	皿		H	13.9	1.7		6.9	B, C, E, H	普通	黄褐	60	O-8-3
29	椀	NS		13.6	3.7		7.8	B, C, G	良好	灰白	40	
30	椀	NS		12.5	3.6		5.9	B, E, G	良好	灰	30	
31	椀	HS		12.8	3.9		6.4	B, C, I	良好	にぶい	80	
32	椀	S		13.0	3.9		5.5	B	良好	灰	40	M-7-4
33	椀	HS					5.9	B, D	良好	灰白	20	
34	椀	HS		12.5	3.3		5.8	B, G, I	良好	灰白	100	
35	椀	HS		12.0	3.7		5.2	C, E, G	普通	浅黄橙	50	O-10-3
36	椀	HS		12.1	4.6		4.8	B, G, I	良好	灰黄	30	
38	椀	HS		13.1				B, K	良好	黒	10	L-7 黒色処理
39	高台付椀	NS		11.7	4.2		5.9	B, E	良好	黄灰	40	I-7
40	高台付椀	NS		12.0	4.8		6.2	B, E, G	良好	褐灰	30	I-7-2
41	高台付椀	NS		12.0	4.6		6.4	B, C, E, I	普通	橙	40	H-7
42	高台付椀	NS		12.5	4.3		5.2	B, C, I	普通	橙	50	I-7
43	高台付椀	NS		10.8	4.7		5.9	B, E	良好	灰白	75	I-7
44	高台付椀	NS		12.9	5.6		6.5	B, E, G	良好	灰白	50	O-10-4
45	高台付椀	HS		13.5	5.0		5.6	B, C, E, I	良好	にぶい黄橙	60	M-7-2
46	高台付椀	HS		13.1	5.7		5.7	B, E, G, I	良好	灰黄	80	K-7-4
47	高台付椀	NS		13.8	5.1		5.8	B, I	普通	黄灰	40	O-7-4
48	高台付椀	NS		14.6	5.4		7.1	B, C, H	良好	灰白	40	墨書
49	高台付椀	NS		14.6	5.3		7.1	B, E, I	良好	灰白	80	
50	高台付椀	S		16.6	8.1		6.9	B	良好	黄灰	50	
51	高脚高台付椀	NS		14.5	7.0		8.0	B, E, G	良好	灰白	60	J-7-4
52	皿	S		13.8	2.5		5.9	B, E, G, I	良好	にぶい黄橙	60	M-7-4
53	皿	S		14.4	2.3		6.5	B	良好	灰	75	L-7-2

第 473 表 第 12 号区画溝出土遺物観察表 (2)

番号	器種	種別	口径	器高	鏝	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
54	皿	S	13.0	2.0		5.2	B, G	良好		黄 灰	70	M-7-2, 4
55	高台付皿	NS	14.1	3.8		6.0	B, C, I	良好		にぶい黄橙	40	L-7-2
56	高台付皿	NS	13.9	3.2		6.7	B, E, G, I	良好		黄 灰	100	
57	高台付皿	NS	13.5	2.8		6.2	B, E, I	良好		灰 白	70	L-7
58	高台付皿	NS	13.2	2.7		6.7	B, E, I	良好		灰 黄	60	L-7-2
59	高台付椀	K				6.0	B, D	良好		灰 白	10	
60	高台付椀	K	10.8	3.5		6.1	B, D	良好		灰 白	25	O-7-1
61	高台付椀	K				7.4	B, D	良好		灰 白	20	N-12
62	高台付椀	K				7.2	B	良好		灰 白	30	L-7 墨書
63	高台付椀	K				9.4	B	良好		灰 白	10	墨書
64	高台付椀	K				8.4	B, D	良好		灰 白	20	O-12-1, 2
65	高台付椀	K				7.9	B, D	良好		灰 白	10	O-12-1, 2
66	高台付椀	K				7.9	B	良好		灰 白	10	N-12
67	高台付皿	K				8.5	B	良好		灰 白	10	M-7-4
68	輪花付高台付皿	K	13.0				B	良好		灰 白	20	K-7
69	高台付皿	K				8.6	B, D	良好		灰 白	5	N-13
70	高台付皿	K				9.0	B	良好		灰 白	30	L-7-2
71	高台付皿	M				7.6	B	良好		淡 緑	10	
72	高台付皿	K				6.2	B, D	良好		灰 白	10	J-7
73	高台付皿	K				6.2	B, D	良好		灰 白	10	J-7
74	高台付椀 (転用硯)	K				7.6	B	良好		灰 白	100	N-7-3
75	段 皿	M	12.5				B	良好		淡 緑	10	
76	耳 皿	K				4.9	B	良好		灰 白	20	O-8-3
77	四耳壺	K					B	良好		灰 白		I-7-2
78	長頸壺	K				8.9	B, D	良好		灰 白	5	L-7-4
79	鉢	H	20.6	10.8		9.2	B, E, H	良好		橙	20	M-7-2
80	甕 A III C	H	15.3				B, E, H	良好		にぶい橙	25	P-8
81	台付甕	H	11.6				B, E, H	良好		橙	20	N-12
82	甕	H				10.0	B, C, E, H	良好		橙	70	N-12
83	羽 A II a 口	H S	19.9				B, E, H	良好		橙	15	I-7

第 474 表 第 12 号区画溝出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
85	にぶい橙	100	6.9	3.4	1.1	68.0	A 1	I a	21	
86	灰 黄	100	5.1	2.1	0.4	19.0	B 1	I b	74	
87	褐 灰	100	5.1	1.9	0.5	14.2	C 1	I b	209	
88	にぶい橙	90	4.9	1.8	0.3	13.8	C 1	I b	210	
89	橙	100	5.3	1.7	0.4	12.7	C 1	I a	211	
90	橙	100	4.4	1.0	0.3	3.8	C 3	I a	706	

第 475 表 第 12 号区画溝出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面	番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
92	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	99	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り
93	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	100	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
94	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り	101	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
95	平瓦	酸化炎	平行タタキ と刷り消し	布	1 面面取り	102	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
96	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	103	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-
97	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-	104	平瓦	還元炎	刷り消し	布	1 面面取り
98	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1 面面取り	105	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-